

2026年度 政治経済学部 シラバス 1

School of Political Science and Economics

履修の手引

2026年度 学年暦

【春学期】		4月1日(水)～9月19日(土)
入学式		4月7日(火)
学習指導		4月1日(水)～4月9日(木)
授業期間	前半集中開講科目(S1)※	4月10日(金)～7月22日(水)
	後半集中開講科目(S2)※	6月4日(木)～7月22日(水)
臨時休業(休講)日		5月1日(金)・5月2日(土)
休日授業実施日①		4月29日(水) [昭和の日]
休日授業実施日②		7月20日(月) [海の日]
補講日	※土曜日の通常時限を利用	5月23日(土)・5月30日(土)
		7月11日(土)・7月18日(土)
定期試験	※予備日を含む	7月23日(木)～7月31日(金)
夏季休業		8月1日(土)～9月19日(土)
秋季卒業式		9月19日(土)

【秋学期】		9月20日(日)～3月31日(水)
秋季入学式		9月19日(土)
学習指導		9月18日(金)
授業期間	前半集中開講科目(F1)※	9月20日(日)～1月23日(土)
	後半集中開講科目(F2)※	11月15日(日)～1月23日(土)
休日授業実施日①		9月21日(月) [敬老の日]
休日授業実施日②		9月22日(火) [国民の休日]
休日授業実施日③		10月12日(月) [スポーツの日]
休日授業実施日④		11月23日(月) [勤労感謝の日]
補講日	※土曜日の通常時限を利用 ※全日補講のみ実施	10月17日(土)・10月24日(土)
		12月22日(火)・1月22日(金)
大学祭週間	※当該期間中は全日休講	10月29日(木)～11月3日(火)
明大祭		10月30日(金)～11月1日(日)
生明祭		10月30日(金)～11月1日(日)
創立記念祝日		11月1日(日)
臨時休業(休講)日		12月23日(水)・12月24日(木)・1月16日(土)
冬季休業		12月25日(金)～1月7日(木)
創立記念日		1月17日(日)
定期試験	※予備日を含む	1月25日(月)～2月3日(水)
春季休業		2月4日(木)～3月31日(水)
卒業式		3月26日(金)

※各学期の前半集中・後半集中開講科目の利用は、一部の授業で7週完結授業を導入する学部に限る。

※大学祭週間中の授業休講措置は全キャンパスに適用する。ただし、大学院、専門職大学院において大学祭週間に授業を実施する場合がある。

2026年度 学年暦カレンダー 全キャンパス共通

【春学期】							【秋学期】									
曜日	日	月	火	水	木	金	土	曜日	日	月	火	水	木	金	土	
4	5	6	7	8	9	10	11	9	20	21	22	23	24	25	26	
	12	13	14	15	16	17	18		10	4	5	6	7	8	9	10
	19	20	21	22	23	24	25			11	12	13	14	15	16	17
	26	27	28	29	30					18	19	20	21	22	23	24
3	4	5	6	7	8	9	10	25		26	27	28	29	30	31	
5	10	11	12	13	14	15	16	11	1	2	3	4	5	6	7	
	17	18	19	20	21	22	23		8	9	10	11	12	13	14	
	24	25	26	27	28	29	30		15	16	17	18	19	20	21	
	31								22	23	24	25	26	27	28	
6	7	8	9	10	11	12	13	12	6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20		13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27		20	21	(22)	23	24	25	26	
	28	29	30						27	28	29	30	31			
7	5	6	7	8	9	10	11	1	3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	(23)	(24)	(25)		17	18	19	20	21	(22)	23	
	26	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)			24	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	
8	2	3	4	5	6	7	8	2	7	(1)	(2)	(3)	4	5	6	
	9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29		28							
9	6	7	8	9	10	11	12	3	7	1	2	3	4	5	6	
	13	14	15	16	17	18	19		14	15	16	17	18	19	20	
									21	22	23	24	25	26	27	
									28	29	30	31				

- 学習指導日
- 休日
- 休日授業実施日
- 大学祭週間
- 臨時休業(休講)日
- 土曜通常時限使用補講日
- 完全補講日(秋学期のみ)
- 定期試験日(予備日を含む)

明大祭：10月30日(金)～11月1日(日)
 生明祭：10月30日(金)～11月1日(日)
 ※大学祭週間中は全キャンパス休講

授業時間割	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
駿河台キャンパス 和泉キャンパス	9:00～10:40	10:50～12:30	13:30～15:10	15:20～17:00	17:10～18:50	19:00～20:40

目 次

	頁
I. 政治経済学部設置科目	
1 基礎科目	7
2 外国語科目	8
3 健康・運動科学科目	15
4 基本科目	16
5 応用科目	17
(1) 専門演習	17
(2) 原典講読	20
(3) コース制度	21
(4) 総合講座・特殊講義	23
(5) 社会実習・地域研究インターンシップ	24
(6) 資格課程科目	24
(7) その他	25
6 他学部設置科目の履修	25
II. 科目履修上の注意	
1 履修登録	29
2 1年生への注意事項	31
3 2年生への注意事項	34
4 3年生への注意事項	37
5 4年生への注意事項	40
III. グローバル教育	
1 グローバルキャリア形成プログラム (GCD プログラム)	49
2 トップスクールセミナー科目	51
IV. 政治経済学部の課外教育	
学部独自の課外教育	55

政治経済学部 人材養成その他の教育研究上の目的

(明治大学学則より抜粋)

政治学科

政治学科は、社会の基本的枠組を決定する政治プロセス及びそれを支える社会の様々な状況を把握・分析する能力を育成し、幅広い視野と専門性を兼ね備えた学生を養成することを目的とする。とりわけ、グローバル化が進展する現代社会に対応するため、国際感覚を持ち、政治・社会に関する専門的な議論ができる学生を養成する。人材養成の観点からは、外国語能力に優れ、政治及び社会に関する分析能力を備えた人材を輩出する。

経済学科

経済学科は、希少な経済資源の分配、生産及び消費によって、人々の経済的厚生を高めていく方法を分析し、理解させることを目的とする。それを踏まえて、本学科では、単に経済学の視点からだけではなく、他学科に設置されている政治学、行政学及び社会学系科目並びにその他学際的科目も履修させ、総合的視点から経済学を学ばせる。そして、この視点から多様な経済事象を分析し、政策立案ができ、かつ、グローバル化の進行に十分に対応できる人材を育成する。

地域行政学科

地域行政学科は、自立して意思決定ができ、地域で活躍できる人材を養成することを目的とする。グローバル化下の地域は、多様な意味を持つゆえに多くの可能性を持ち、反面で諸問題を抱えている。それゆえ、地域を構成する住民、企業及び自治体並びにそれらが機能する場としての共同体、産業及び行政をコーディネートさせることが不可欠であるため、地域をめぐる「理論」と「現実」及び諸課題を解決するための「運用」・「対処」の仕方を習得させる。

政策学科

政策学科は、自立して意思決定ができ、各種政策分野で活躍できる人材を養成することを目的とする。グローバル化下における国内外の地域は、「地方」「都市」「国」「大州(大陸)」「世界」など多様な意味を持つ。ゆえに多くの可能性を持ち、反面で自然的、人的、社会的及び文化的な資源をめぐる諸問題を抱えている。そこで、それらを構成する住民、企業及び政府・自治体など多様な主体がそれぞれの役割に応じて、適切な政策を企画・立案し、実行していくことが不可欠である。このため、政治学、社会学、経済学をはじめとした学際的な知識とデータ分析力・語学力などを総動員して、多様な「地域」をめぐる理論と課題把握力を修得し、諸課題の解決及び社会を豊かにするための施策のあり方を構想し、企画・立案、提言及び実践できる能力を修得させる。

I. 政治経済学部設置科目

基礎科目

外国語科目

健康・運動科学科目

基本科目

応用科目

他学部設置科目の履修

基礎科目

1. カリキュラムにおける位置づけ

基礎科目は、政治学・経済学・行政学・政策学・社会学といった専門科目とは別に、人生を送る上で学んでおいたほうが良い教養力を身につけることを目的として、授業科目を設置している。そして、基礎科目に人文科学・社会科学・自然科学・総合と4つの科目群を設けて、それぞれの科目群から4単位以上の授業科目を学ぶよう、科目を構成している。

基礎科目は1・2年生向けに配置された科目が多く、基礎科目の名が示すとおり、学習する上での基礎知識となる科目が多い。豊かな教養は、専門科目を学ぶ上でも、人生を送る上でも必要不可欠なものなので、1年生から積極的な受講を勧める。

また、基礎科目を履修する際には、以下の点に留意して履修登録すること。

2. 履修登録の際に注意が必要な科目

(1) 教養演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅡA・ⅡB・ⅡC

◆シラバス…教養演習要項を作成している。以下の場所で配布するので、履修希望者は参照すること。

1 年生：学生証交付時に配布

2 年生：和泉キャンパス 第一校舎 1 階 政治経済学部事務室（7 番窓口）

◆履修者選抜…教養演習は少人数形式の授業のため、受講者多数の際には、初回授業でレポート・試験等で履修者の選抜を行う。履修希望者は、初回授業時に必ず出席し、履修許可を得ること。また、演習によっては、初回授業の前に課題を課す場合があるので、履修希望者は「教養演習要項」を参照すること。

◆半期科目…教養演習ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡBは半期科目で2単位の授業である。そのため、成績評価は各学期終了後に行う。

◆通年科目…教養演習ⅠC・ⅡCは通年科目で4単位の授業である。そのため、成績評価は年度末（秋学期終了後）に行う。ただし、教養演習ⅠC・ⅡCの履修単位数は春学期2単位・秋学期2単位であわせて4単位であり、履修制限単位数にも春学期・秋学期共に2単位を算入する。

◆科目名…1年生は「教養演習ⅠA・ⅠB・ⅠC」、2年生は「教養演習ⅡA・ⅡB・ⅡC」。3・4年生は履修を認めない。

(2) 日本事情A・B・C

◆履修対象者…日本事情Aは留学生とTOEICスコア550点以上を取得している一般学生が履修でき、日本事情B・Cは外国人留学生のみを対象とした科目である。

(3) 共通総合講座Ⅰ、共通総合講座Ⅱ

◆卒業単位への算入…共通総合講座Ⅰ、共通総合講座Ⅱともテーマが多数あるので、複数回履修することができる。そして履修単位数は履修制限単位数に算入する。また、共通総合講座Ⅰ、共通総合講座Ⅱの修得単位は、両科目を併せて4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。

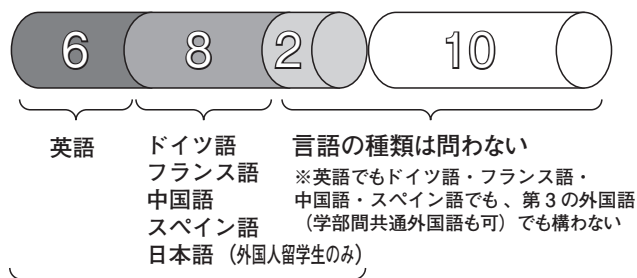
外国語科目

1. カリキュラムにおける位置づけ

政治経済学部では、外国語科目の授業として、英語に加えて、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・日本語（外国人留学生に限る）を設置している。そして、以下の卒業要件でも記載しているとおり、2つ以上の外国語を学ぶこととなる。

2. 卒業要件

- (1) 外国語科目を 16 単位以上修得すること。
- (2) 外国語科目のうち、英語、ドイツ語、フランス語、中国語及びスペイン語から 2 か国語を選択し、英語は 6 単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語及びスペイン語は* 8 単位以上修得しなければならない。
- (3) 外国人留学生は、日本語* 8 単位以上並びに英語、ドイツ語、フランス語、中国語及びスペイン語から 1 か国語を選択し、英語は 6 単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語及びスペイン語は* 8 単位以上修得しなければならない。
- (4) (2)及び(3)で選択した外国語（英語を除く。）については、当該言語の「I」（1 年次春学期に履修する科目）をそれぞれ 2 単位修得しなければならない。



卒業に必要な「外国語科目区分」 16 単位

選択必修の外国語は (2) 下線部の 5 か国語（留学生は日本語を必ず含める）から選択し、「I」を 2 単位修得しなければならない。

【例】英語と中国語を選択必修としたケースの事例

- 例1) 英語 8 単位 + 中国語 8 単位 ⇒ 卒業要件を満たす
- 例2) 英語 6 単位 + 中国語 10 単位 ⇒ 卒業要件を満たす
- 例3) 英語 6 単位 + 中国語 6 単位 + 中国語（共通外国語）4 単位 ⇒ 卒業要件を満たす
- 例4) 英語 6 単位 + 中国語 8 単位 + ドイツ語 2 単位 ⇒ 卒業要件を満たす
- 例5) 英語 6 単位 + 中国語 8 単位 + ロシア語（共通外国語）2 単位 ⇒ 卒業要件を満たす
- 例6) 英語 8 単位 + 中国語 4 単位 + ドイツ語 4 単位 ⇒ 卒業要件を満たさない

3. 各学年の外国語科目の履修

	1 年春学期	1 年秋学期	2 年春学期	2 年秋学期	3・4 年
英語	英語 I ②	英語 I ②	英語 II～英語 IV	英語 II～英語 IV	英語 II～英語 IV
ドイツ語	ドイツ語 I ②	ドイツ語 II ②	ドイツ語 III ①	ドイツ語 III ①	ドイツ語 III・IV
フランス語	フランス語 I ②	フランス語 II ②	フランス語 III ①	フランス語 III ①	フランス語 III・IV
中国語	中国語 I ②	中国語 II ②	中国語 III ①	中国語 III ①	中国語 III・IV
スペイン語	スペイン語 I ②	スペイン語 II ②	スペイン語 III ①	スペイン語 III ①	スペイン語 III・IV
日本語 (外国人留学生のみ)	日本語 I ②	日本語 II ②	日本語 III ②	日本語 III ②	日本語 III・IV

※太字は必修（当該外国語選択者に限る）。白抜きの丸囲み数字は、クラス指定授業の単位数。

1 年次は、クラスで指定された授業を履修する。2 年次以降は、クラス指定授業が初習外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・日本語）に限られるので、クラス指定授業の他に外国語授業を選択することとなる。

〈参考〉 英語科目授業レベル

- 英語 I（クラス指定）……TOEIC 400 - 499 を目安に設置
- 英語 II（選 択）……TOEIC 500 - 549 を目安に設置
- 英語 III（選 択）……TOEIC 500 - 599 を目安に設置
- 英語 IV（選 択）……TOEIC 600 以上を目安に設置

〈参考〉 ドイツ語 IV、フランス語 IV、中国語 IV、スペイン語 IV

これらの科目は、ドイツ語 III、フランス語 III、中国語 III、スペイン語 III を修得済の人向けに設置されている。

4. 英語実践力特別強化（ACE）プログラム

(1) ACE 概要

ACE とは Advanced Communicative English の頭文字をとった略称であり、英語のコミュニケーション能力・実践能力を高めるために設置した授業である。ACE の授業は全て選択科目であり、プログラム修了を目指して履修することもできるし、自分が必要とする能力を高めるために一部科目だけを履修することもできる。さらに、在学途中からの履修も可能な授業である。

政治経済学部では、ACE を、留学希望者や、在学中に英語能力を高めたい学生に向けた授業と位置づけ、ACE Content-based Study・ACE General Communication Skills・ACE Exam Skills では授業あたりの履修者数を 15 名程度に限定した授業を行っている。

そのため、クラス指定外国語科目や選択外国語科目よりも、予習・復習には多くの時間を要する。だが、ACE プログラムを終えた卒業生や在学学生は、英語能力の向上を実感しており、大学で英語能力を高めた政治経済学部学生に勧めたい授業の一つである。

(2) プログラムの修了要件 ※ 2017 年度以前入学者は、取り扱いが異なるため、事務室に確認すること【2025 年度以降入学者】

① ACE Content-based Study・ACE General Communication Skills・ACE Exam Skills・ACE Academic Training・ACE Presentation Skills の中から、7 単位以上を、S 又は A の評価で修得すること。

ただし、指定された教養演習において同様の評価を得た場合には、2 単位を上限として、半期科目は 1 科目 1 単位、通年科目は 1 科目 2 単位を、この要件に含めることができる。

② 次の英語試験において、いずれかのスコアを取得すること。

ア TOEIC スコア 800 点以上^{*1}

イ TOEFL PBT スコア 550 点以上

ウ TOEFL iBT 70 点以上（2026 年 1 月 20 日以前に実施した試験）^{*2}

TOEFL iBT 4 以上（2026 年 1 月 21 日以降に実施した試験）^{*2}

エ IELTS Overall Band Score 6.0 以上^{*3}

I. 政治経済学部設置科目

【2018年度～2024年度入学者】

- ① ACE Content-based Study・ACE General Communication Skills・ACE Exam Skills・ACE Multimedia Independent Study【2021年度以前入学者はACE I～IV】・ACE Academic Trainingの中から、6単位以上を、S又はAの評価で修得すること。
ただし、指定された教養演習において同様の評価を得た場合には、2単位を上限として、半期科目は1科目1単位、通年科目は1科目2単位を、この要件に含めることができる。
- ② ACE Presentation Skillsの単位を修得すること。
ただし、ACE Presentation Skillsは、上記①の条件を満たし、かつTOEICスコア700点以上を取得した者のみが履修できる。
- ③ 次の英語試験において、いずれかのスコアを取得すること。
 - ア TOEICスコア800点以上^{※1}
 - イ TOEFL PBTスコア550点以上
 - ウ TOEFL iBT 70点以上（2026年1月20日以前に実施した試験）^{※2}
TOEFL iBT 4以上（2026年1月21日以降に実施した試験）^{※2}
 - エ IELTS Overall Band Score 6.0以上^{※3}

※1 TOEIC L&R IP テスト（オンライン）を含む

※2 MyBestスコア、TOEFL iBT Special Home Edition 及び TOEFL iBT Home Edition は対象外

※3 IELTS Indicator は対象外

履修申込み手続

- (1) 1年生 政治経済学部が主催する2026年4月1日（水）実施のTOEIC IPテストで520点以上のスコアを取得した学生は、履修登録期間に、スコア要件を満たしているレベルのクラスのWEB履修登録を行うことができる。なお、初回授業時に、必ず、担当教員宛にEntry Sheetを提出すること。
※履修システムの都合上2026年4月1日（水）に大学で受験したTOEIC IPテストのスコア以外は一切認められません。
- (2) 2年生 Oh-ol!Meiji グローバルに登録されているTOEICスコアが520点以上の学生は、履修登録期間に、スコア要件を満たしているレベルのクラスのWEB履修登録を行うことができる。なお、初回授業時に、必ず、担当教員宛にEntry Sheetを提出すること。

※詳しくは、Oh-ol!Meiji システムの所属学年グループ（グループ名：●年生）内グループトピック「ACE ガイダンス」を確認すること。（Entry Sheet もここからダウンロードできます）

5. 外国語科目履修上限単位数一覧表

政治経済学部設置外国語		政治経済学部の 取り扱い	学部間共通外国語
科目名	履修上限 単位数		科目名
英語Ⅰ	8単位	「英語」の修得単位 として扱う科目	English CommunicationⅠA、English CommunicationⅠB、 English CommunicationⅡA、English CommunicationⅡB、 English CommunicationⅢA、English CommunicationⅢB、 Intercultural Communication (English)ⅠA、 Intercultural Communication (English)ⅠB、 Intercultural Communication (English)ⅡA、 Intercultural Communication (English)ⅡB、 資格英語 <集中科目> English CommunicationⅠC、English CommunicationⅡC、 English CommunicationⅢC、 English Intensive CourseⅠ、English Intensive CourseⅡ、 English Intensive CourseⅢ
英語Ⅱ	8単位		
英語Ⅲ	8単位		
英語Ⅳ	8単位		
ACE Content-based Study 【2021年度以前 ACEⅠ】			
ACE General Communication Skills 【2021年度以前 ACEⅡ】			
ACE Exam Skills 【2021年度以前 ACEⅢ】			
ACE Presentation Skills		「ドイツ語」の修得 単位として扱う科目	ドイツ語会話ⅠA、ドイツ語会話ⅠB、ドイツ語会話ⅡA、ドイツ語会話ⅡB、 ドイツ語会話ⅢA、ドイツ語会話ⅢB、資格ドイツ語A、資格ドイツ語B、 国際理解講座・ドイツ語圏A、国際理解講座・ドイツ語圏B <集中科目> ドイツ語会話Ⅰ（集中講座）、ドイツ語会話Ⅱ（集中講座）、 ドイツ語会話Ⅲ（集中講座）
ドイツ語Ⅰ	2単位		
ドイツ語Ⅱ	4単位		
ドイツ語Ⅲ	8単位		
ドイツ語Ⅳ	8単位	「フランス語」の修得 単位として扱う科目	フランス語会話ⅠA、フランス語会話ⅠB、フランス語会話ⅡA、フランス語会話ⅡB、 フランス語会話ⅢA、フランス語会話ⅢB、資格フランス語A、資格フランス語B、 国際理解講座・フランス語圏A、国際理解講座・フランス語圏B <集中科目> フランス語会話Ⅰ（集中講座）、フランス語会話Ⅱ（集中講座）、 フランス語会話Ⅲ（集中講座）
フランス語Ⅰ	2単位		
フランス語Ⅱ	4単位		
フランス語Ⅲ	8単位		
フランス語Ⅳ	8単位	「中国語」の修得単 位として扱う科目	中国語会話ⅠA、中国語会話ⅠB、中国語会話ⅡA、中国語会話ⅡB、 中国語会話ⅢA、中国語会話ⅢB、資格中国語A、資格中国語B、 国際理解講座・中国語圏A、国際理解講座・中国語圏B <集中科目> 中国語会話Ⅰ（集中講座）、中国語会話Ⅱ（集中講座）、 中国語会話Ⅲ（集中講座）
中国語Ⅰ	2単位		
中国語Ⅱ	4単位		
中国語Ⅲ	8単位		
中国語Ⅳ	8単位	「スペイン語」の修得 単位として扱う科目	スペイン語ⅠA、スペイン語ⅠB、スペイン語ⅡA、スペイン語ⅡB 【2010年度入学者から適用】 スペイン語会話ⅠA、スペイン語会話ⅠB、 スペイン語会話ⅡA、スペイン語会話ⅡB
スペイン語Ⅰ	2単位		
スペイン語Ⅱ	4単位		
スペイン語Ⅲ	8単位		
スペイン語Ⅳ	8単位	「日本語」の修得単 位として扱う科目	日本語（上級総合）A、日本語（上級総合）B、 日本語（上級口頭表現）A、日本語（上級口頭表現）B、 日本語（上級文章表現）A、日本語（上級文章表現）B、
日本語Ⅰ	2単位		
日本語Ⅱ	4単位		
日本語Ⅲ	8単位		
日本語Ⅳ	8単位	選択必修にはなら ないが、外国語科 目として卒業に必 要な単位数に算入 できる科目	ロシア語ⅠA、ロシア語ⅠB、ロシア語ⅡA、ロシア語ⅡB、 ロシア語会話ⅠA、ロシア語会話ⅠB、ロシア語会話ⅡA、ロシア語会話ⅡB ----- 【2019年度以降入学者】韓国語ⅠA、韓国語ⅠB、韓国語ⅡA、韓国語ⅡB、 韓国語会話Ⅰ（集中講座）、韓国語会話Ⅱ（集中講座）、韓国語会話Ⅲ（集中講座） ----- 【2019年度以降入学者】古典ギリシア語ⅠA、古典ギリシア語ⅠB ----- 【2019年度以降入学者】ラテン語ⅠA、ラテン語ⅠB ----- イタリア語ⅠA、イタリア語ⅠB、イタリア語ⅡA、イタリア語ⅡB ----- アラビア語ⅠA、アラビア語ⅠB、アラビア語ⅡA、アラビア語ⅡB
ACE Content-based Study・General Communication Skills・Exam Skills・ 【2021年度以前入学者はⅠ～Ⅲ】、ACE Presentation Skills、ACE Academic Traning は複数回の履修が可能です。			
卒業要件である「選択必修の2か国語」 は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、 スペイン語及び日本語（外国人留学生のみ） から選択します。			

* 共通外国語の各語種ⅠA、ⅠB、ⅠCは政治経済学部卒業要件の「選択外国語科目Ⅰを2単位修得する」という要件に含めることはできない。
* 学部間共通外国語（集中科目）の修得単位は、政治経済学部設置外国語の各言語の履修上限単位数には含まれない。

6. 入学形態による特定外国語・特別外国語授業

(1) スポーツ特別入学試験入学者対象

英語、ドイツ語、フランス語、中国語で学部間共通で行われるスポーツ特別入学者向けの授業を開講している。
(履修上限単位数は右表参照)

申込手続は4月初旬のスポーツ特別入学者対象ガイド
ンスにて説明する。

(2) ドイツ語・フランス語既習者向け授業

ドイツ語・フランス語既習者を対象にした授業を設けている。

入学試験をドイツ語・フランス語で受験した学生、及び既習学生は、この授業を履修することができるので、政治経済学部事務室（和泉）へ問い合わせること。

科目名	年間履修 上限単位数	在学中の履修 上限単位数
英語 I	2	6
ドイツ語 I 中国語 I	1	1
ドイツ語 II 中国語 II	1	1
ドイツ語 III フランス語 III 中国語 III	2	2

7. 外国語検定試験による単位認定制度

政治経済学部では、外国語検定試験に合格、又は一定のスコアを納めた学生を対象に、外国語科目の単位認定を行っている。春学期申請分の認定単位は春学期の成績に、秋学期申請分の認定単位は秋学期の成績に反映される。なお、当該学期中に履修中の授業の代わりにするものではない。申請方法・認定方法・認定単位の取扱いは以下の通り。

(1) 申請方法及び申請受付期間

Oh-olMeiji システムの各所属学年グループのトピック「外国語検定試験による単位認定制度」を確認の上、合格・スコアを証明できる書類を添付して、所定の方法で申請受付期間中に申請すること。春学期申請及び秋学期申請の具体的な申請受付期間については、同トピックを確認すること。

ただし、申請期限時点で、合格・スコアが確定しているにもかかわらず、申請受付期間中にスコアを証明できる書類の提出が間に合わない場合は、合格・スコアが確認できる証拠資料（WEBサイト上における試験結果照会画面を含む）を申請受付期間中に提出し、合格・スコアを証明できる書類を春学期及び秋学期ともに申請期限後2週間以内に、必ず提出することを条件に受理する。申請期限後2週間以内に合格・スコアを証明できる書類の提出がない場合は、無効とする。

※ HSK（漢語水平考試）について、「成績報告（原本・有料）」または「成績報告記載内容証明書（原本・有料）」（以下、「証明書」）を合格・スコアを証明できる書類とする。なお、申請受付期間中に「成績報告（原本・有料）」または「証明書」の提出が間に合わない場合は、申請期間中に「成績通知書（PDF データ）」を提出し、さらに指定された期日までに必ず「成績報告（原本・有料）」または「証明書」を提出することを必須とする。

※ DELF・DALF 試験について、「仮合格証明書」はスコアを証明できる書類に含む。

(2) 認定方法

資格レベルに応じて次ページ『外国語検定試験による認定科目及び単位数一覧』のとおり、単位を付与する。成績評価は「認定」と表示し、GPA には含まない。また、認定単位は上位の試験に合格をするたびに単位数を加算していくのではなく、各検定試験における最終到達レベルに相当した単位数を認定する。

(3) 修得単位

外国語科目の卒業要件として算入される。外部検定の申請は各学期の履修上限単位数に含めないが、各外国語科目の履修上限単位数内で認定することとなる。

(4) 英語以外の言語における同一言語内での2回目以降の単位認定については、同一検定試験である場合は前回までの認定単位数よりも多い分について認定し、検定試験が異なっていれば認定単位数の分を認定する。

英語における2回目以降の単位認定については、検定試験が異なる場合でも、前回までの認定単位数よりも多い分について認定する。

(5) 取得年度は入学前も含み、過年度のものでも申請を認める。

I. 政治経済学部設置科目

外国語外部検定認定科目及び単位数一覧

言語	外国語検定 認定スコア・級位		認定科目	認定単位数	
英語	TOEFL PBT/ITP	477～510	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
		513～537	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		540～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	TOEFL iBT 2026年1月20日以前のスコアレポート	53～64	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
		65～74	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		75～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	TOEFL iBT 2026年1月21日以降のスコアレポート	3.5	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
		4	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		4.5～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	IELTS (Academic Module)	6.0	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		6.5～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	ケンブリッジ英語検定	166～171	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
		172～174	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		175～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	TOEIC (L & R)	620～735	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
		740～835	英語Ⅰ～Ⅲ	4	
		840～	英語Ⅰ～Ⅳ	6	
	TOEIC (4技能)	880～1035	英語Ⅰ・Ⅱ	2	
1040～1165		英語Ⅰ～Ⅲ	4		
1170～		英語Ⅰ～Ⅳ	6		
実用英語技能検定 (英検)	準1級	英語Ⅰ～Ⅲ	4		
	1級	英語Ⅰ～Ⅳ	6		
	B級	英語Ⅰ・Ⅱ	2		
国連英検	B級	英語Ⅰ・Ⅱ	2		
	A級以上	英語Ⅰ～Ⅳ	6		
ドイツ語	ドイツ語技能検定	4級	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	1	
		3級	ドイツ語Ⅰ～Ⅲ	2	
		2級	ドイツ語Ⅰ～Ⅳ	4	
		準1級以上	ドイツ語Ⅰ～Ⅳ	6	
	Goethe-Institut Goethe-Zertifikat	A1 (SD1)	ドイツ語Ⅰ～Ⅲ	2	
		A2 (SD2)	ドイツ語Ⅰ～Ⅲ	4	
フランス語	実用フランス語技能検定	4級	フランス語Ⅰ・Ⅱ	1	
		3級	フランス語Ⅰ～Ⅲ	2	
		準2級	フランス語Ⅰ～Ⅳ	4	
		2級以上	フランス語Ⅰ～Ⅳ	6	
	DELFL・DALF 試験	A1	フランス語Ⅰ～Ⅲ	2	
		A2	フランス語Ⅰ～Ⅳ	4	
中国語	中国語検定	4級	中国語Ⅰ・Ⅱ	1	
		3級	中国語Ⅰ～Ⅲ	2	
		2級	中国語Ⅰ～Ⅲ	4	
		準1級以上	中国語Ⅰ～Ⅳ	6	
	漢語水平考試 (HSK)	筆記試験	1・2級	中国語Ⅰ・Ⅱ	1
			3級	中国語Ⅰ～Ⅲ	2
			4級	中国語Ⅰ～Ⅲ	4
			5・6級	中国語Ⅰ～Ⅳ	6
		口頭試験	初級	中国語Ⅰ・Ⅱ	1
			中級	中国語Ⅰ～Ⅲ	2
			高級	中国語Ⅰ～Ⅳ	6
スペイン語	スペイン語技能検定	5級	スペイン語Ⅰ・Ⅱ	1	
		4級	スペイン語Ⅰ～Ⅲ	2	
		3級	スペイン語Ⅰ～Ⅲ	4	
		2級以上	スペイン語Ⅰ～Ⅳ	6	
	DELE	a1	スペイン語Ⅰ・Ⅱ	2	
		a2	スペイン語Ⅰ～Ⅲ	4	
		b1以上	スペイン語Ⅰ～Ⅳ	6	

- TOEFL iBT は Test Date スコアのみを認定の対象とする。(MyBest スコアは対象としない。) TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition は対象としない。
- IELTS (Academic Module) は CDI (Computer-delivered IELTS) も認定の対象とする。IELTS Indicator、IELTS One Skill Retake は対象としない。
- TOEIC は IP テストのスコアも認定の対象とする。(オンラインの IP テストは対象としない。)
- 実用英語技能検定 (英検) は S-CBT も認定の対象とする。
- Goethe-Institut Goethe-Zertifikat の B1 以上は総合点 6 割以上を必要とする。
- HSK (漢語水平考試) 筆記試験 1～4 級は合格、筆記試験 5・6 級及び口頭試験初級・中級・高級は 6 割以上のスコアを必要とする。また、筆記試験と口頭試験のいずれか一つのみ認定の対象とする。
- 英語における 2 回目以降の単位認定については、検定試験が異なる場合でも、前回までの認定単位数よりも多いものについてのみ、その差の分を認定する。
例: TOEFL iBT で 2 単位認定した後、TOEIC (L & R) で 740 点を取得した場合、2 単位のみ追加で認定する。

2026 年 4 月改訂

健康・運動科学科目

1. カリキュラムにおける位置づけ

健康・運動科学科目は、必修科目の「運動学演習Ⅰ-1、運動学演習Ⅰ-2」を含め、在学中に4単位を修得することが、卒業要件である。健康・運動科学科目に設置している科目は、人間形成や健康な活力を培うために欠くことができない身体運動について科学的に理解し、有効に実践できる知識を習得することである。なお、健康・運動科学科目のうち、実技科目履修者は、4月に必ず健康診断を受診すること。

2. 履修条件

運動学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2、運動学演習Ⅲ-1・Ⅲ-2、運動学演習Ⅳ-1・Ⅳ-2、生涯スポーツ演習ともに、履修には「運動学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」2単位の修得が必要である。

- (1) 運動学演習Ⅱ-1、運動学演習Ⅱ-2（対象：2年生） ※3・4年生は、履修できない。
- (2) 生涯スポーツ演習（対象：2～4年生、4単位まで履修可）
- (3) 運動学演習Ⅲ-1、運動学演習Ⅲ-2（対象：3年生以上）
- (4) 運動学演習Ⅳ-1、運動学演習Ⅳ-2（対象：Ⅲ-1、Ⅲ-2を修得した3年生以上）

3. 履修登録方法

健康・運動科学科目の履修登録方法は、和泉キャンパス設置科目、駿河台キャンパス設置科目でそれぞれ異なるので、注意すること。各科目の履修登録方法については、ガイダンス資料を確認すること。

和泉キャンパス設置科目：運動学演習Ⅰ-1・Ⅰ-2、運動学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2

駿河台キャンパス設置科目：運動学演習Ⅲ-1・Ⅲ-2、運動学演習Ⅳ-1・Ⅳ-2

※履修登録した科目については、必ず初回授業に出席すること。

基本科目

1. カリキュラムにおける位置づけ

基本科目は、政治学科・経済学科・地域行政学科・政策学科の専門科目を受講する前提となる知識を学ぶ科目である。そのため、各学科とも、1・2年生対象の必修科目や、所属学科の専門科目に類似した科目を設置している。3・4年生向けの基本科目は、政治学科の学生を対象とした科目であり、3・4年次配当の基本科目12単位以上修得することを卒業要件に課している。

また、3学科共通基本科目は、1・2年生向けの科目である。1・2年生が、3年次以降に学科専門科目を受講するうえで学んでおいたほうが良い知識や、専門分野における各論的知識、あるテーマに沿った学習を提供する科目なので、1・2年生で専門科目に興味がある学生には、受講を勧める。

なお、基本科目を履修する際には、以下の点に留意して履修登録すること。

2. 履修登録の際に注意が必要な科目

以下の特殊講義科目については、入学年度により履修可否が異なるため注意すること。

【入学年度ごとの履修可能な科目】

2026年度以降入学者	2025年度以前入学者	2021年度以前入学者
政治学特殊講義 A	政治学特殊講義 A	政治学特殊講義 I
政治学特殊講義 B	政治学特殊講義 B	政治学特殊講義 II
社会学特殊講義 A	社会学特殊講義 A	社会学特殊講義 I
社会学特殊講義 B	社会学特殊講義 B	社会学特殊講義 II
経済学特殊講義 A	経済学特殊講義 A	経済学特殊講義 I
経済学特殊講義 B	経済学特殊講義 B	経済学特殊講義 II
経済政策特殊講義 A	経済政策特殊講義 A	経済政策特殊講義 I
経済政策特殊講義 B	経済政策特殊講義 B	経済政策特殊講義 II
—	マスコミュニケーション特殊講義 A	マスコミュニケーション特殊講義 I
—	マスコミュニケーション特殊講義 B	マスコミュニケーション特殊講義 II
—	地域行政特殊講義 A	地域行政特殊講義 I
—	地域行政特殊講義 B	地域行政特殊講義 II

応用科目 (1) 専門演習

専門演習 (卒業論文)・専門演習 (外国書研究・原典研究) I・II

◆科目名称及び配当年次	<p>【2017年度～2025年度入学者】 専門演習 (卒業論文) …3年次 4単位 (半期2単位科目)、4年次 4単位 (半期2単位科目) 専門演習 (外国書研究・原典研究) I・II …3年次 4単位 (半期2単位科目)</p> <p>【2026年度以降入学者】 (2028年度以降に開講) 専門演習 (卒業論文) IA・IIA・III・IV…3年次 [IA・IIA] 4単位 (半期2単位科目)、4年次 [III・IV] 4単位 (半期2単位科目) 専門演習 (卒業論文) IB・IIB…3年次 4単位 (半期2単位科目)</p> <p>※ 2016年度以前入学者は、取扱いが異なるため、事務室に確認すること。</p>
◆授業内容	<p>各教員の研究テーマ別にゼミナールを設置。講義詳細は『専門演習要項』を参照すること。</p> <p>専門演習要項は、2年生を対象に、Oh-o! Meiji システムで公開する。(10月中旬予定)</p>
◆問い合わせ先	<p>1・2年生 政治経済学部事務室 (和泉キャンパス) 3・4年生 政治経済学部事務室 (駿河台キャンパス)</p>

1. 履修資格

2年次の11月中旬(予定)に行われる専門演習入室試験において、該当ゼミナールに合格した者。

2. 専門演習の履修有無とコース制度

専門演習を履修しない場合、卒業に向けた履修計画を立てるにあたって、体系的に科目を選択するための指導を受ける機会がなくなるため、コース選択・登録をしたうえで、登録したコースの科目を20単位以上数得することが卒業要件となる。コース制度の詳細については、本冊子の「コース制度」に関する項目を熟読すること。

3. 専門演習履修者（ゼミナール入室者）の卒業要件

専門演習を履修（ゼミナールに入室）する場合、単位を修得することが卒業要件となる。

- (1) 「専門演習（卒業論文）」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IA～IV」）各2単位 計8単位必修

指導教員のもと卒業論文を作成する。履修は3・4年次の継続履修となり、指定された期日に卒業論文を提出することにより、成績が付与される。3・4年次で各学期2単位、計8単位修得が卒業要件となる。

- (2) 「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IB・IIB」）各2単位 計4単位必修

半期科目であり、3年次に各学期2単位、計4単位修得が卒業要件となる。

※留学や休学等の理由により、3年次に単位を修得できなかった場合は、指導教員に確認の上、4年次に再履修をするか、ゼミナールを退室して「原典講読I・II」（2026年度以降入学者は「専門研究I・II」）を修得しなければならない。

4. ゼミナールの途中退室と専門演習未履修者の卒業要件について

- (1) ゼミナールの途中退室方法

ゼミナールを途中で退室する場合は、指導教員の許可をとった上で、政治経済学部事務室に「ゼミナール退室およびコース登録願」を提出する必要がある。「ゼミナール退室およびコース登録願」の担当教員の署名は自身で担当教員へ依頼することとする。「ゼミナール退室およびコース登録願」の提出は、在学最終学期の履修登録（履修修正）期間まで認める。（多くの場合、4年生の秋学期の履修登録（履修修正）期間まで。）

期間内に退室手続きが完了しなかった場合、「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IB・IIB」）4単位及び「専門演習（卒業論文）」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IA～IV」）8単位の合計12単位を修得しなければ卒業できない。

- (2) ゼミナールを途中で退室した場合の卒業要件

ゼミナールを途中で退室した場合、専門演習未履修者として次ページのいずれかのコースを選択し、選択したコースの科目を20単位以上修得することが、新たな卒業要件となる。この20単位には、退室前に修得していた科目の単位数も含む。

また、退室時点で「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IB・IIB」）を4単位修得していない場合、不足している単位分「原典講読I・II」を修得する必要がある。

例1) 退室時点で「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IB・IIB」）を4単位すでに修得している場合

→「原典講読I・II」を修得する必要はない。

例2) 退室時点で「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）IB・IIB」）をいずれも修得していない場合

→「原典講読I・II」を修得する必要がある。必ず履修登録すること。

I. 政治経済学部設置科目

例3) 退室時点で「専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）ⅠB・ⅡB」）を2単位のみ修得している場合
 →「原典講読Ⅰ」又は「原典講読Ⅱ」（どちらでも可）（2026年度以降入学者は「専門研究Ⅰ」又は「専門研究Ⅱ」）を修得する必要がある。必ず履修登録すること。

<参考：科目名の変更について>

	2026年度以降入学者	2025年度以前入学者	単位数	開講期間	配当年次
(専門演習科目)	専門演習（卒業論文）ⅠA	専門演習（卒業論文）	2	半期	3年
	専門演習（卒業論文）ⅡA	専門演習（卒業論文）	2	半期	3年
	専門演習（卒業論文）Ⅲ	専門演習（卒業論文）	2	半期	4年
	専門演習（卒業論文）Ⅳ	専門演習（卒業論文）	2	半期	4年
(専門研究科目)	専門研究Ⅰ	原典講読Ⅰ	2	半期	3年
	専門研究Ⅱ	原典講読Ⅱ	2	半期	3年
	専門研究Ⅲ	原典講読Ⅲ	2	半期	4年
	専門研究Ⅳ	原典講読Ⅳ	2	半期	4年
	専門演習（卒業論文）ⅠB	専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ	2	半期	3年
	専門演習（卒業論文）ⅡB	専門演習（外国書研究・原典研究）ⅠⅠ	2	半期	3年

I. 政治経済学部設置科目

応用科目 (2) 原典講読 (2026年度以降入学者は「専門研究」)

専門演習を履修しない場合、「原典講読Ⅰ・Ⅱ」(2026年度以降入学者は「専門研究Ⅰ・Ⅱ」)をそれぞれ2単位ずつ、計4単位修得しなければならない。

同科目は、以下のとおりクラス指定されているため、自身の組に指定された担当教員・曜日・時限の科目を履修すること。ただし、全学科対象の科目(日本古典語・独外書・仏外書・社会学・特定)を指定科目の代わりに履修することも可能。

「原典講読Ⅲ・Ⅳ」(2026年度以降入学者は「専門研究Ⅲ・Ⅳ」)は卒業に必要な単位数には含むことができるが、卒業要件である原典研究科目の4単位には含まれないため、注意すること。

【2026年度 原典講読Ⅰ・Ⅱ 担当者一覧】

学科	組	担当教員	曜日	時限
政治	1～5	佐々木 研一朗	木	2
	6～9	三 森 ちかし	水	4
地域行政	10～14	小 川 天	金	2
経済	15～22	田 中 茉莉子	月	5
	23～28	鎌 田 健 司	火	2
	29～35	アディネガラ イヴォンス	金	3

学科	組	担当教員	曜日	時限
全	日本古典語	植 田 麦	火	3
全	独外書	奥 山 誠	金	4
全	仏外書	杉 本 隆 司	木	4
全	社会学	三 原 武 司	金	1
全	特定	土 肥 有 理	木	3

※ 2026年度以降入学者向けの「専門研究」については、2026年度は開講しない。

応用科目 (3) コース制度

1 コース制と科目パッケージ

政治経済学部では、3・4年次に配当される応用科目の選択の目安として4つのコースを設け、さらにそれを区分した科目パッケージを配置している。この科目パッケージは1つの履修モデルとなっている。

専門演習を履修している学生は、担当教員の指導に基づいて、自身の研究テーマにふさわしい科目パッケージを選択し、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行う。

2 コースの登録（専門演習を履修しない者のみ）

専門演習を履修しない学生は、応用科目を分類した、以下のいずれかのコースを選択しなければならない。選択したコースの科目を20単位以上修得することが、卒業要件となる。

コースの登録方法については、「3年生ガイダンス資料」にて確認すること。専門演習履修者は、コース登録する必要はない。

コース別応用科目〔2025年度以前入学者〕

A 政治学・社会学コース	B 経済学コース	C 地域行政学コース	D 国際地域・文化論コース
a 政治理論系パッケージ	d 国際経済系パッケージ	g 公行政系パッケージ	j 日本・アジア文化系パッケージ
自治体経営論、国家論、現代国家分析、都市政策、都市行政、政治過程論、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論、比較政治論(東アジア)、計量政治学、政治行動論、公共政策学	国際経済学、経済地理学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	自治体経営論、行政法、地域行政学、行政情報論、公共政策学、公会計学、都市政策、都市行政、地方財政論、社会保障論、地域開発論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、スポーツ文化論	日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、比較政治論(東アジア)、アジア政治論、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論
b 国際政治系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	h 地域コミュニティ系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ
国際政治学、国際関係史、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法 A、国際法 B、比較政治論、比較政治論(東アジア)、日本・アジア地域論 A～D、日本アジア文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	現代日本経済論、金融論、金融政策、地方財政論、財政政策、租税論、国際金融論	社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域開発論、地域情報論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、スポーツ文化論	ヨーロッパ地域論 A～E、ヨーロッパ文化論 A～E、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、国際政治学、国際関係史、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論
c 社会学系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ	i 産業社会系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
現代社会学 A、現代社会学 B、現代社会心理学 A、現代社会心理学 B、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、地域情報論	現代経済政策、食料経済学、環境経済学、産業組織論、中小企業論、地域産業論、人口学、労働経済学、社会保障論、協同組合学、地域開発論、地域振興論	地域産業論、中小企業論、協同組合学、食料経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、労働経済学、地域振興論、地域政策論 A～J	アメリカ地域論 A～D、アメリカ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、国際政治学、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論

I. 政治経済学部設置科目

コース別応用科目〔2026年度以降入学者〕

A 政治学・社会学コース	B 経済学コース	C 政策学コース	D 国際地域・文化論コース
a 政治理論系パッケージ	d 国際経済系パッケージ	g 行政系パッケージ	j 日本・アジア文化系パッケージ
自治体経営論、国家論、現代国家分析、都市政策、都市行政、政治過程論、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論、比較政治論(東アジア)、計量政治学、政治行動論、公共政策学	国際経済学、経済地理学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、日本・アジア文化論 A～D、日本・アジア地域論 A～D、ヨーロッパ文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～D、アメリカ文化論 A・C・D、アメリカ地域論 A・C・D、連環地域文化論 A～D	自治体経営論、行政法、地域行政学、情報政策論、公共政策学、公会計学、都市政策、都市行政、地方財政論、社会保障論、地域開発論、財政政策、地方自治法、租税論、政策実践総合講座、応用政策論 A～G	比較政治論(東アジア)、アジア政治論、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、日本・アジア文化論 A～D、日本・アジア地域論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論
b 国際政治系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	h 産業・地域社会系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ
国際政治学、国際関係史、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法 A、国際法 B、比較政治論、比較政治論(東アジア)、日本・アジア文化論 A～D、日本・アジア地域論 A～D、ヨーロッパ文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～D、アメリカ文化論 A・C・D、アメリカ地域論 A・C・D、連環地域文化論 A～D	現代日本経済論、金融論、金融政策、地方財政論、財政政策、租税論、国際金融論	地域産業論、中小企業論、協同組合学、地域行政学、都市政策、都市行政、経済地理学、社会福祉政策論、地域情報論、コミュニティ福祉論、地域振興論、観光・文化政策論、社会的企業論、人口学、政策マーケティング、政策実践総合講座、応用政策論 A～G	国際政治学、国際関係史、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、ヨーロッパ文化論 A～D、ヨーロッパ地域論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論
c 社会学系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ	i 広域・国際政策系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
現代社会学 A、現代社会学 B、現代社会心理学 A、現代社会心理学 B、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学、民俗学 A、民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、地域情報論	現代経済政策、食料経済学、環境経済学、産業組織論、中小企業論、地域産業論、人口学、労働経済学、社会保障論、協同組合学、地域開発論、地域振興論	経済法、経済政策原理、金融政策、現代経済政策、開発経済学、国際経済政策、食料経済学、環境経済学、労働経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、国際政治学、国際関係史、国際金融論、スポーツ文化論、政策実践総合講座、応用政策論 A～G	国際政治学、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、アメリカ文化論 A・C・D、アメリカ地域論 A・C・D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論

〈カリキュラム対照表〉

2026年度以降入学者	2022年度以降入学者	2018～2021年度入学者
都市政策 都市行政 国際法 A・B 現代社会学 A・B 現代社会心理学 A・B 民俗学 A・B 社会人類学 A・B 租税論 応用政策論 A～G 日本アジア地域論・文化論 A～D ヨーロッパ地域論・文化論 A～D アメリカ地域論・文化論 A・C・D 連環地域文化論 A～D	都市政策 都市行政 国際法 A・B 現代社会学 A・B 現代社会心理学 A・B 民俗学 A・B 社会人類学 A・B 租税論 地域政策論 A～J 日本アジア地域論・文化論 A～D ヨーロッパ地域論・文化論 A～E アメリカ地域論・文化論 A～D 連環地域文化論 A～D	都市政策 都市行政 国際法 現代社会学 現代社会心理学 民俗学・日本民族社会論 民俗学・社会人類学 財政学 地域政策論 I～X 日本アジア地域論・文化論 I～IV ヨーロッパ地域論・文化論 I～V アメリカ地域論・文化論 I～IV 連環地域文化論 I～IV

応用科目 (4) 総合講座・特殊講義

◆科目名称及び 配当年次	応用総合講座 A～J	1～4年次
	特殊講義 A・B	1・2年次
	特殊講義 C～F	3・4年次
◆問い合わせ先	和泉開講科目 政治経済学部事務室 (和泉キャンパス)	
	駿河台開講科目 政治経済学部事務室 (駿河台キャンパス)	

1. 履修制限単位数と概要

- (1) 応用総合講座 A～G 【2025年度以前入学者：応用総合講座 A～J】
政治経済学部で扱う現代的な諸問題の中からいくつかのテーマを選び、その分野の最先端に関わる講師を学外から招いて、オムニバス形式で講義を行う。
- (2) 特殊講義 A・B
専門科目への導入講座にも位置づけられている講座もある。
- (3) 特殊講義 C～F
テーマを掘り下げ、専門知識をより深く吸収できる講義となる。

2. 履修制限単位数

各科目の履修制限単位数は以下の通り。

科目	履修制限単位数
応用総合講座 A～G (2025年度以前入学者： 応用総合講座 A～J)	4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。
特殊講義 A・B	基礎科目の「国際文化特殊講義 A・B」を含め、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる (2021年度以前入学者のみ)。
特殊講義 C～F	6単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる (2021年度以前入学者のみ)。

応用科目 (5) 社会実習・地域研究インターンシップ

社会実習：

- ◆配当年次 1～4年次
- ◆授業内容・履修方法
政治経済学部シラバス2及びOh-o!Meijiシステムによるお知らせ、ガイダンスを参照すること。
- ◆問い合わせ先 政治経済学部事務室（駿河台キャンパス）

地域研究インターンシップ：

- ◆配当年次 地域行政学科3年次
 - ◆授業内容・履修方法
政治経済学部シラバス2及びOh-o!Meijiシステムによるお知らせ、ガイダンスを参照すること。
 - ◆問い合わせ先 政治経済学部事務室（駿河台キャンパス）
- ※政策学科所属学生に対しては、2028年度以降、3年生を配当年次とした「政策研究インターンシップ」を開講。

応用科目 (6) 資格課程科目

1. カリキュラムにおける位置づけ

資格課程科目は、教職課程・学芸員養成課程・社会教育主事課程・司書課程・司書教諭過程を履修するのに必要な科目である。各課程の履修希望者は、課程要件を理解するために資格課程ガイダンスへ出席しなければならない。

政治経済学部では、教職課程履修者の授業負担を配慮し、「教科に関する科目」のうち、いくつかの科目を卒業に必要な単位数に含める制度を採っている。

2. 履修登録の際に注意が必要な科目

資格課程科目は、資格課程ガイダンスに出席し、受講を希望する課程の登録料を納入して初めて履修資格を得られる。そのため、受講希望者は必ず資格課程ガイダンスに出席すること。履修登録方法や参照する冊子も異なるので、注意が必要である。

- ◆履修登録方法…WEB履修システム
- ◆シラバス・時間割配付…資格課程ガイダンスで、資格課程案内、資格課程シラバス、資格課程時間割表を配付する
- ◆問い合わせ先…資格課程和泉分室（第一校舎1階）、資格課程事務室（リパティタワー19階）

教職課程・司書課程・司書教諭課程・社会教育主事課程は1年次から履修できるが、学芸員養成課程は、2年次から履修することとなる。

3. 教職課程科目の卒業に必要な単位数への算入の取扱い

入学年度によって、教職課程科目の一部の科目を卒業に必要な単位数に含めることができる。ただし、卒業に必要な単位数に算入する履修をする際は、学期・学年で指定された履修制限単位数に履修単位数を含める。

対象科目群	対象科目
教科に関する科目	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、人文地理学概論、地誌学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論から合計8単位まで

応用科目 (7) その他

情報関係科目：「情報関係科目シラバス」を参照すること。

グローバル人材育成プログラム：本学 HP 「グローバル人材育成プログラム」を参照すること。

他学部設置科目の履修

授業内容は各学部シラバスを参照

◆履修可能科目	他学部設置科目のうち、政治経済学部同名・類似の科目がなく、かつ、科目設置学部及び政治経済学部の両学部が履修を許可した科目
◆単位の扱い	20 単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる
◆シラバス・時間割	各学部シラバス・時間割表を参照

1. 履修上の注意

他学部設置科目の履修希望者は、以下の点を確認すること。

- (1) 履修希望科目が、政治経済学部設置科目と同名、又は内容が類似していないか。
- (2) 履修希望科目が、演習科目・実習科目・外国語科目など、履修者数を制限する科目ではないか。
- (3) 履修希望科目設置学部が、他学部の履修者を認めているか。
- (4) 配当年次

以上の4点の条件を満たす場合は、次ページの履修登録方法を参照し申し込むこと。

I. 政治経済学部設置科目

2. 履修単位・修得単位の取扱い

- (1) 他学部設置科目の履修単位数は、各年次・学期の履修制限単位数に含まれる。また、修得単位は、20単位まで、卒業に必要な単位数に算入することができる（一部、算入することができない科目もある）。
- (2) 他学部設置科目は、卒業に必要な単位数に算入できるが、各科目区分（基礎科目・基本科目・応用科目など）の卒業要件には含めることはできない。したがって、政治経済学部設置科目を優先して修得していくことが必要である。

他学部設置科目履修登録方法

WEB 履修登録期間に登録

※表示された科目のみ登録可

問い合わせ先

1・2年生 政治経済学部事務室（和泉キャンパス）

3・4年生 政治経済学部事務室（駿河台キャンパス）

Ⅱ. 科目履修上の注意

履修登録

1年生への注意事項

2年生への注意事項

3年生への注意事項

4年生への注意事項

履修登録

1. 履修登録について

(1) 履修登録

「履修登録」とは、自身が受講しようとする授業科目を学部に届け出る手続きのことをいう。下記の履修登録スケジュールを確認の上、春学期に設けられた履修登録期間中に、春学期と秋学期の両学期分の履修登録を行うこと。

(2) 履修登録方法

履修登録は、WEB履修システムで行う。WEB履修登録方法詳細は、明治大学HP「WEB履修登録操作手順」ページ（QRコード）にて、確認すること。



インターネットが利用できるパソコンを用いて、履修登録すること。履修登録期間中はネットワーク回線が混み合うことが予想されるため、余裕をもって登録すること。

(3) 履修登録スケジュール

ガイダンス資料を確認すること。

(4) 時間割の確認

各個人の時間割表は、明治大学教務システムにて公開する。自身の履修登録科目、曜日・時限、担当教員、履修単位数を確認すること。

(5) 履修エラー修正・履修変更

①履修エラー修正

履修登録の結果、履修エラー（履修単位数上限超過、時間割重複等）が生じた場合は、学部事務室からOh-olMeijiのお知らせ機能を通じて該当者に通達される。通達があった場合には、その指示に従って各自速やかにエラーの修正手続を行うこと。

②履修登録変更

履修登録内容の変更を希望する場合には、所定の期間内に行うこと。履修登録変更期間の詳細は、ガイダンス資料を参照すること。

なお、履修変更の対象科目は以下の通り。

- 抽選を実施しない講義科目
- 他学部履修科目（一部他学部履修科目については、変更できない場合あり）

II. 科目履修上の注意

2. 秋学期の履修登録変更期間

本学では、前述の通り、春学期に設けられた履修登録期間中に、春学期と秋学期の両学期分の履修登録を行う必要がある。ただし、春学期の成績評価発表後（9月）、同年度秋学期の学習計画変更を希望する者に限り、所定の履修登録変更期間内において、秋学期の履修登録科目を新規追加・削除することができる。具体的な履修登録変更期間及び手続に関する詳細は、秋学期開始前に Oh-o!Meiji のお知らせ機能を通じて告知を行う。

なお、以下の科目は履修の新規追加及び削除することはできない、もしくは条件があるため、留意すること。また、教室定員に余裕がない科目については、事前抽選を実施する又は履修追加を認めない可能性があるため、注意すること。

科目	追加・削除の可否
必修科目	追加可（削除不可）
通年科目	追加・削除不可
クラス指定の外国語科目	所定の単位を修得している場合のみ、1・2年生の春学期分は履修登録期間中、1・2年生の秋学期分は秋学期の履修登録変更期間中に削除を受け付ける。
選択外国語科目	追加可（削除不可）
運動学演習Ⅰ-2、運動学演習Ⅱ-2、生涯スポーツ演習	追加・削除不可
他学部設置科目・学部間共通外国語・資格課程科目・情報関係科目・グローバル人材育成プログラム科目	当該科目設置機関の履修ルールに従うこと

1 年生への注意事項

履修科目を決める前に、政治経済学部のカリキュラムの大枠を理解すること。

◆卒業要件と卒業に必要な単位数、履修制限単位数 => 入学年度の便覧を参照すること。

1. 履修計画（4年間の履修計画と各学期の時間割編成の検討）

4年間の履修計画を立てたうえで、1年次に履修する科目を決める。1年次には、以下の順番（①～⑤）で優先順位をつけて、各学期の履修科目を決めること。

- ① 学科必修科目
- ② 運動学演習 I - 1 / 運動学演習 I - 2
- ③ 外国語科目（2言語）
- ④ 上記①以外の基本科目や基礎科目を自由に選択し履修する。
- ⑤ その他の科目（教職課程など資格課程に関わる科目、他学部設置科目など）を履修する。

【1年次の履修計画イメージ】

上記〈1〉～〈3〉の科目をすべて履修した場合の、合計履修単位数と、各学期の履修上限単位数（21単位）の範囲内で履修可能な残りの単位数。

[2026年度以降入学者]

学科	〈1〉学科必修	〈2〉運動学演習	〈3〉外国語	単位数
政治学科	憲法 A 憲法 B 政治学基礎 政治理論基礎 政治学・社会学総合講座	運動学演習 I - 1 運動学演習 I - 2	・英語 ・ドイツ語 ・フランス語 ・中国語 ・スペイン語 ・日本語 以上の外国語から自分が選択する外国語2つ	〈1〉～〈3〉の合計単位数 春学期 11・秋学期 9 ↓ 残り単位数 春学期 10・秋学期 12
経済学科	マクロ経済学 I マクロ経済学 II ミクロ経済学 I ミクロ経済学 II 経済史★ 経済学総合講座			〈1〉～〈3〉の合計単位数 春 15or11・秋 9or13 ↓ 残り単位数 春 6or10・秋 12or8
政策学科	憲法 B 政治学基礎 政治理論基礎 マクロ経済学 I ミクロ経済学 I 政策学基礎			〈1〉～〈3〉の合計単位数 春学期 13・秋学期 9 ↓ 残り単位数 春学期 8・秋学期 12

※★は4単位科目

外国人留学生は、クラス指定の日本語を4単位履修すること。

秋学期開講科目は、シラバスの講義詳細を読んで履修を決めること。
一部の科目を除いて秋学期授業前に、履修の変更ができる。

=> P.30

II. 科目履修上の注意

[2025 年度以前入学者]

	〈1〉学科必修	〈2〉運動学演習	〈3〉外国語	単位数
政治学科	憲法★ 政治学基礎 政治理論基礎 政治学・社会学総合講座	運動学演習 I -1 運動学演習 I -2	・英語 ・ドイツ語 ・フランス語 ・中国語 ・スペイン語 ・日本語 以上の外国語から自分が選択する外国語 2 つ	〈1〉～〈3〉の合計単位数 春学期 9・秋学期 11 残り単位数 春学期 12・秋学期 10
経済学科	マクロ経済学★ ミクロ経済学★ 経済史★ 経済学総合講座			〈1〉～〈3〉の合計単位数 春 15or11・秋 9or13 残り単位数 春 6or10・秋 12or8
地域行政学科	憲法★ 政治学基礎 政治理論基礎 マクロ経済学★			〈1〉～〈3〉の合計単位数 春学期 11・秋学期 11 残り単位数 春学期 10・秋学期 10

2. 事前申込みが必要な科目及び、履修者限定科目

以下の科目を履修するには、あらかじめ定められた条件を満たさなくてはならない。

ア 教養演習 I A、I B、I C（基礎科目・総合科目群）

履修を希望する演習の初回授業に出席し、担当教員から履修許可を得た学生のみ、履修登録期間に WEB 履修登録を行うことができる。

イ 日本事情 A、B、C（基礎科目・総合科目群）

ウ 共通総合講座 I、共通総合講座 II（基礎科目・総合科目群）

エ 学部間共通外国語科目（外国語科目）

オ 情報関係科目

カ 資格課程科目

キ 他学部設置科目

また、外国語科目（ACE を含む）、運動学演習や、一部の基礎科目・基本科目では、履修人数を制限するため、学科・学年・クラスで、履修者を限定している科目がある。自身が履修可能な授業は、学部ホームページで公開している時間割の備考欄で確認すること。

よくある質問 FAQ

Q1 1年次の履修のポイントを教えてください。

A1 政治経済学部のカリキュラムは、1年次に
 「大学に慣れるための科目」(教養演習など)、
 「専門教育に必要な基礎知識を身につける科目」(基本科目など)、
 「人間としての幅広い視野や考え方を養うための科目」(基礎科目など)
 の科目を配置しています。そのため、これらの科目をバランスよく履修することが望まれます。

ガイダンスやシラバスでもふれていますが、必修科目・クラス指定授業を履修すると、残りの自由に選択できる単位数は、政治学科1年生が22単位分、経済学科1年生が18単位分、政策学科1年生が20単位分になります。まずは、この自由に選択できる単位数で、基礎科目の4分野からそれぞれ1科目以上を履修することが望ましいといえます。そのうえで、自分の興味がある分野の科目(ACE、学部間共通外国語、全学共通総合講座、基本科目、基礎科目)を履修すれば、うまく時間割を組むことができます。科目には、必修・選択必修・自由選択といった優先順位がありますので、その優先順位を意識しながら履修登録をしてください。

なお、教養演習、国語表現、ICTベーシックは、大学で学習するためのベースとなる科目です。必修科目ではありませんが、レポート作成の方法を学んだり、リテラシー能力を高める授業ですので、1年次に学習しておくことをおすすめします。

Q2 共通総合講座(全学共通総合講座)は複数のテーマが設けられていますが、複数授業を履修できますか？

A2 できます。ただし、卒業に必要な単位数に含めることができるのは、4単位を上限とします。

Q3 2年次配当の科目を履修できますか？

A3 できません。全ての科目には履修できる学年が定められており、上級学年の配当科目は履修できません。配当学年は、学部便覧の授業科目表を参照してください。

Q4 履修したい授業と必修科目が重複しています。必修科目の時間帯を変更できますか？

A4 できません。1年次は、大学生活に慣れるために必修科目を多く配当していますが、2年次以降は必修科目が減り、自由に選択できる科目が増えます。そのため、1年次は必修科目を優先して履修してください。

Q5 クラス指定英語を必ず履修しなくてはならないのでしょうか？

A5 クラス指定英語は必修です。ただし、4月に実施するTOEICが740点以上の場合には、履修削除を認めます。削除方法は、Oh-o!Meijiの案内を確認してください。

2 年生への注意事項

履修科目を決める前に、政治経済学部のカリキュラムの大枠を理解すること

- ◆卒業要件と卒業に必要な単位数、履修制限単位数 => 入学年度の便覧を参照すること。

1. 履修計画（時間割編成）

4 年間の履修計画を立てて、2 年次に履修する科目を決める。2 年次には、以下の順番（①～⑨）で優先順位をつけて、履修科目を決めること。

- ① 2 年次学科必修科目（政治学科・地域行政学科）
- ② 2 年次学科選択必修科目（経済学科・政策学科）
- ③ 1 年次学科必修科目（単位未修得者）
- ④ 1 年次未修得科目（該当者のみ）
 - ア 英語を除く、選択必修として選択した外国語の「I」科目（ドイツ語 I、フランス語 I、中国語 I、スペイン語 I、日本語 I）
 - イ 運動学演習 I - 1、運動学演習 I - 2
- ⑤ 外国語科目（クラス指定）
- ⑥ 健康・運動科学科目（2 年次選択必修）
- ⑦ 外国語科目（選択外国語）
- ⑧ 上記①～③以外の基本科目や基礎科目を自由に選択し履修する。
- ⑨ その他の科目（教職課程など資格課程に関わる科目、他学部設置科目など）を履修する。

※外国語科目は、卒業に必要な単位数を 2 年次までに修得することが望ましい。

【2 年次の履修計画】★は 4 単位科目

上記①～③の科目をすべて履修した場合の、合計履修単位数と、各学期の履修上限単位数（22 単位）の範囲で履修可能な残りの単位数。

学科	〈1〉学科必修	〈2〉外国語	〈3〉健康・運動科学	単位数
政治学科	政治学原論★ ④	クラス指定 外国語 ②	運動学演習 II - 1 運動学演習 II - 2 生涯スポーツ演習 健康・運動科学 I (クラス指定) 以上の科目から 2 単位以上 ②	(1)～(3)の合計単位数 8 単位 (年間) ↓ 残り単位数 36 単位まで
経済学科	経済政策 財政学 経済学史 現代経済事情 ⑥以上			(1)～(3)の合計単位数 4～10 単位 (年間) ↓ 残り単位数 40～34 単位まで
政策学科	行政学基礎 行政理論基礎 経済政策 政策研究総合講座 ⑥以上			(1)～(3)の合計単位数 4～10 単位 (年間) ↓ 残り単位数 40～34 単位まで

※白抜きの丸囲み数字は、クラス指定授業の単位数。

「健康・運動科学 I」はクラス指定された曜日・時限で履修すること（時間割表参照）。

「運動学演習 II -1」「運動学演習 II -2」「生涯スポーツ演習」の履修には、「運動学演習 I -1」、「運動学演習 I -2」の両科目を修得していないなければならない。

外国人留学生は、クラス指定の日本語を 4 単位履修すること。

2. 事前申込みが必要な科目及び、履修者限定科目

以下の科目を履修するには、あらかじめ定められた条件を満たさなくてはならない。

ア 教養演習ⅡA、ⅡB、ⅡC（基礎科目・総合科目群）

※履修を希望する演習の初回授業に出席し、担当教員から履修許可を得た学生のみ、履修登録期間にWEB履修登録を行うことができる。

イ 日本事情A、B、C（基礎科目・総合科目群）

ウ 共通総合講座Ⅰ、共通総合講座Ⅱ（基礎科目・総合科目群）

エ 学部間共通外国語科目（外国語科目）

オ 情報関係科目

カ 資格課程科目

キ 他学部設置科目

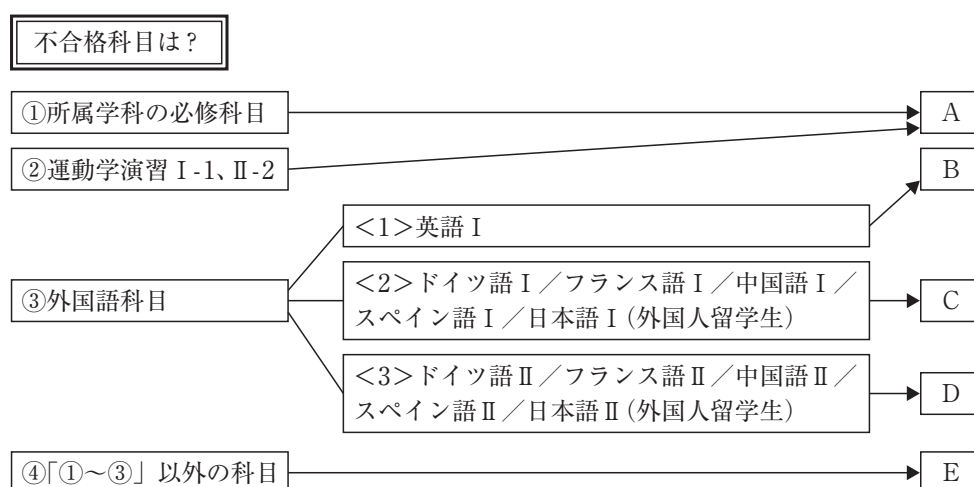
また、外国語科目（ACEを含む）、健康・運動科学Ⅰや、一部の基礎科目・基本科目では、履修人数を制限するため、学科・学年・クラスで、履修者を限定している科目がある。

3. 再履修

再履修とは、一度履修して不合格になった（単位未修得）科目を再度履修することである。再履修科目の履修単位数も、当該学期の履修上限単位数に含まれる。

1年次必修科目を単位未修得の学生は、以下のフローチャートを参考に履修計画を立て、必要に応じて再履修をすること。

【再履修フローチャート】



II. 科目履修上の注意

A	必修科目のため、必ず再履修すること。
B	「英語 I」は1年次クラス指定科目のため、再履修できない。英語の卒業要件単位が不足している場合は、2年次の選択外国語を増やすか、学部間共通外国語（英語）や外国語検定試験による単位認定制度を利用し、必要な単位数を修得すること。
C	必修科目のため、不合格となった科目（自身の選択外国語の「I」）を、必ず再履修すること。なお、日本語については、再履修するクラスを大学が予め指定する。
D	必修科目ではないため、再履修は必ずしも必要ではない。ただし、当該言語の「I～IV」の卒業要件単位が不足している場合は、再履修するか、学部間共通外国語や外国語検定試験による単位認定制度を利用し、必要な単位数を修得すること。なお、日本語科目を再履修する場合については、再履修するクラスを大学が予め指定する。
E	必修科目ではないため、再履修は必ずしも必要ではない。ただし、卒業要件単位が不足している場合は、必要な科目・単位数を修得すること。

よくある質問 FAQ

Q1 クラス指定外国語や選択外国語を、必ず履修しなくてはならないのでしょうか？

A1 クラス指定外国語は必修です。ただし、卒業に必要な単位数を修得済の場合は、政治経済学部事務室まで申し出てください。選択外国語については、2年次終了時に、外国語科目合計で16単位以上、英語6単位以上、初習外国語8単位以上を修得できるように、履修計画を立てることが望まれます。

Q2 1年次必修科目を未修得ですが、再履修しなくてはならないのでしょうか？

A2 必修科目は必ず再履修してください。2年次で選択する科目よりも優先して、履修登録をしてください。

Q3 運動学演習Ⅱ－1（若しくは運動学演習Ⅱ－2）と、健康・運動科学Ⅰを両方履修することはできますか？

A3 できます。健康・運動科学科目区分は、運動学演習Ⅰ－1と運動学演習Ⅰ－2を含め、在学中に4単位以上修得することが卒業要件です。

Q4 2年生からでもACEを履修できますか？

A4 できます。ただし、履修に際してはTOEIC520以上のスコアが求められます。また、ACEを修得した場合は英語の修得単位に含めることができます。

Q5 2年次の履修のポイントを教えてください。

A5 3年次から、専門演習（ゼミナール）をはじめとした専門教育が始まります。2年次においては、そのための準備が求められます。

所属学科の基本科目は、1年次・2年次の学科必修科目を含め、22単位程度履修することが望ましいといえます。基本科目で得る知識は、専門教育の基礎知識です。基本科目の学習をおろそかにすると、3年次以降の学習に影響しますので、2年次のうちに基礎学力を養いましょう。

また、基本科目以外の科目については、基礎科目は4分野からそれぞれ4単位を修得した上で、卒業要件の合計28単位以上を目指します。同時に、健康・運動科学科目についても、卒業要件の合計4単位以上を修得できるよう、履修しましょう。

3 年生への注意事項

◆卒業要件と卒業に必要な単位数、履修制限単位数 => 入学年度の便覧を参照すること。

1. コース登録

【専門演習を履修しない者】

専門演習を履修しない3年生（全学科）は、コース登録を行わなければならない。登録を怠った者は、履修登録が無効となるので注意すること。コースの概要については自身の入学年度の便覧及び本冊子の「応用科目（3）コース制度」を参照すること。所属学科によるコース選択の制限は無い。

コース登録方法については、3年生ガイダンス資料にて確認すること。

【専門演習を履修する者】

専門演習履修者はゼミナール担当教員の指導により、履修科目を決定していくので、コースによる卒業要件は適用されない。専門演習入室試験合格者については、「ゼミ選択コース」を事前登録しているのでWEB履修登録期間に自身で変更しないこと。専門演習の履修を途中でやめる（退室する）場合は、「ゼミナール退室およびコース登録願」を提出し、コース登録をしなくてはならない。

※在学最終学期の履修登録及び履修登録変更期間中までに退室の手続を行わなかった者は、専門演習（卒業論文）を修得しなければ卒業できない。

2. 3年次の卒業要件に関わる主な事項

(1) 3・4年次基本科目（政治学科）

学科で指定する科目から12単位以上修得しなければならない。

学 科	科 目	卒業要件
政治学科	政治思想史、政治理論史、日本政治史、西洋政治史、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論（2026年度以降入学者は「マスコミュニケーション論」）、メディアと世論	合計 12単位 以上

※入学年度の便覧を参照すること。

登録したコースは3年次の春学期履修登録変更期間内であれば変更を受け付けるが、それ以降は変更できないので熟考のうえ、決定すること。

基本科目についてはP.16を参照すること。

II. 科目履修上の注意

(2) 学科関係科目

卒業に必要な学科関係科目の単位数は42単位である。1・2年次までに修得した学科関係科目の合計を確認し、履修計画を立てること。

(3) 応用科目

【専門演習を履修する者】

「専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ・Ⅱ」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）ⅠB・ⅡB」）を4単位、「専門演習（卒業論文）」（2026年度以降入学者は「専門演習（卒業論文）ⅠA～ⅠV」）を8単位修得しなければならない。

【専門演習を履修しない者】

「原典講読Ⅰ・Ⅱ」（2026年度以降入学者は「専門研究Ⅰ・Ⅱ」）を4単位、選択したコース科目を20単位以上修得しなければならない。「原典講読Ⅰ・Ⅱ」（2026年度以降入学者は「専門研究Ⅰ・Ⅱ」）はクラス指定されているため、指定された曜日・時限・担当で履修すること。なお、「原典講読Ⅲ・Ⅳ」（2026年度以降入学者は「専門研究Ⅲ・Ⅳ」）は卒業に必要な単位数には含むことができるが、卒業要件である原典研究科目の4単位には含まれないため、注意すること。

(4) 必修科目（1・2年次配当）の再履修

再履修科目の単位数は、当該学期及び当該年度の履修制限単位数に含める。また、1・2年次配当科目は、**外国語科目以外**全て和泉キャンパスで受講し、定期試験も和泉キャンパスで受験すること。

和泉キャンパス設置科目を履修する際は、キャンパス間の移動時間が約30分かかることを考慮し、前後の時限に履修する科目を調整しなければならないので注意すること。

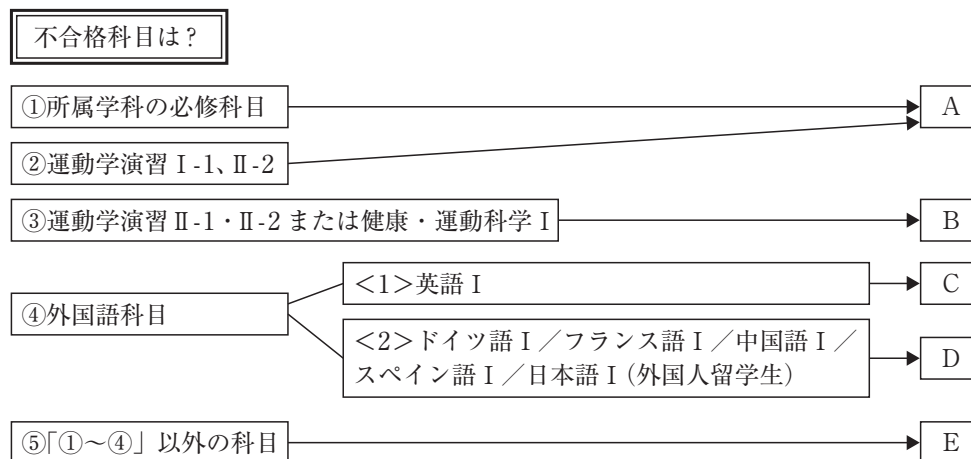
また、科目によっては履修を事前に登録するため、指定された日時に、履修手続をすること。

「原典講読」担当者一覧参照

「原典講読Ⅰ・Ⅱ（特定スポーツ）」は、スポーツ特別入試による入学者のみが履修できる。

和泉キャンパスの時間割表は、政治経済学部
のHPを参照。

【再履修フローチャート】



A	必修科目のため、必ず再履修すること。
B	選択必修科目のため、次のいずれかを必ず再履修すること。 ・和泉キャンパス開講の「健康・運動科学Ⅰ」 ・駿河台キャンパス開講の「健康・運動科学Ⅱ」、「運動学演習Ⅲ-1」、「運動学演習Ⅲ-2」 ※3年次以降は、和泉キャンパス開講の「運動学演習Ⅱ-1」および「運動学演習Ⅱ-2」は履修できない。
C	「英語Ⅰ」は1年次クラス指定科目のため、再履修できない。英語の卒業要件単位が不足している場合は、2年次の選択外国語を増やすか、学部間共通外国語（英語）や外国語検定試験による単位認定制度を利用し、必要な単位数を修得すること。
D	必修科目のため、不合格となった科目（自身の選択外国語の「Ⅰ」）を、必ず再履修すること。なお、日本語については、再履修するクラスを大学が予め指定する。 ※3年次以降は、駿河台キャンパス開講科目のみ履修可能。
E	必修科目ではないため、再履修は必ずしも必要ではない。ただし、卒業単位が不足している場合は、必要な科目・単位数を修得すること。（特に1・2年次配当の基礎科目の卒業要件単位の修得状況をよく確認すること。）

外国語科目は、同一名の科目を複数回履修することができるが、過去に不合格となった科目を履修する場合は、たとえ担当者が異なっても、再履修となる。また、不合格の回数分単位修得しないと新規科目扱いにならず、4年次最終学期の新規科目への算入の際は要注意。

3. その他

- (1) 「地域研究インターンシップ」は地域行政学科の3年生のみが履修できる。
(2026年度以降入学者:「政策研究インターンシップ」は2028年度以降開講され、政策学科3年生のみが履修できる。)
- (2) 「卒業見込証明書」は4年次に発行する。3年次末までに84単位以上修得していることが必要である。
- (3) 専門演習履修者の、専門演習科目に関する修得単位数については以下を参照すること。

① 2017年度～2025年度入学者

	修得単位数			
	3年春学期	3年秋学期	4年春学期	4年秋学期
専門演習（卒業論文）	2単位	2単位	2単位	2単位
専門演習 （外国書研究・原典研究Ⅰ）	2単位	—	—	—
専門演習 （外国書研究・原典研究Ⅱ）	—	2単位	—	—

② 2026年度以降入学者（2028年度以降に開講）

	修得単位数			
	3年春学期	3年秋学期	4年春学期	4年秋学期
専門演習科目	専門演習 （卒業論文）ⅠA 2単位	専門演習 （卒業論文）ⅡA 2単位	専門演習 （卒業論文）Ⅲ 2単位	専門演習 （卒業論文）Ⅳ 2単位
専門研究科目	専門演習 （卒業論文）ⅠB 2単位	専門演習 （卒業論文）ⅡB 2単位	—	—

4 年生への注意事項

- ◆卒業要件と卒業に必要な単位数、履修制限単位数 => 入学年度の便覧を参照すること。

1. 定期健康診断のお知らせ

就職活動をする・しないに関わらず、必ず受診すること。

【実施期間】

4月3日（金）～9日（木）

（学部・男女の指定あり。Oh-o! Meiji 又は大学 HP 参照。）

※健康診断証明書は、5月11日（月）より証明書自動発行機にて発行する。

- ◆健康診断・健康診断証明書の問い合わせ先

学生支援事務室（駿河台キャンパスリバティタワー3階）

2. 証明書の発行

(1) 卒業見込証明書の発行

3年次終了時点で、卒業に必要な単位を84単位以上修得している学生のみ、卒業見込証明書を発行することができる。ただし、卒業に必要な単位数が84単位未満であるが4年次の履修科目を含めると卒業要件を満たすことができる学生は、希望する場合のみ「卒業見込認定書」の発行ができるので、政治経済学部事務室（駿河台）に相談すること。

(2) 卒業証明書・在籍最終学期の成績を含めた成績証明書の発行

卒業証明書・在籍最終学期の成績を含めた成績証明書は、3月27日以降に発行が可能となる。

3. 卒業要件の確認

卒業要件である各区分の条件を十分に確認し、4年次の履修計画を立てること。余裕を持った履修計画を立て、単位修得すること。

4年次に注意すべき卒業要件は、以下のとおりである。

(1) 専門演習履修者は、4年次に通年で最低4単位以上を修得しなければならない。

ただし、4年次に大学間及び学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。

健康診断未受診者は、健康診断証明書の発行が出来ないので、就職活動などにおいて使用する場合は、特に注意すること。

(2) 専門演習を履修しない者（コース制度登録者）は、在学最終学期に最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間及び学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。

以下の科目は対象とならないので注意すること。

- ① 履修制限単位数に含まれない、卒業要件外科目
- ② 外国語検定試験による単位認定制度などの認定科目
- ③ 3年次までに単位を修得し、4年次単位認定の申請をする社会実習科目

(3) 「専門演習（卒業論文）」の単位（専門演習履修者のみ）

専門演習履修者は、3・4年次を通じて「専門演習（卒業論文）」を継続履修し、卒業論文を作成・提出することが義務付けられている。卒業論文未提出あるいは不合格の場合、単位を修得することができない。卒業論文の提出日・提出方法等については、10月～11月頃に Oh-o!Meiji からのお知らせを確認すること。

退室を希望する場合は、政治経済学部事務室に「ゼミナール退室およびコース登録願」を在学最終学期の履修登録（履修修正）期間までに提出すること。退室手続を行わなかった場合、卒業論文提出し「専門演習（卒業論文）」を修得しなければ卒業することができない。

【参考】専門演習（卒業論文）4年時の履修単位の取り扱いについて

	4年春学期	4年秋学期
履修制限単位への配分	2単位	2単位

⇒専門演習（卒業論文）を履修している者は、各学期、ゼミ以外の履修制限単位数に含む科目を最大22単位までしか履修することができない。

(4) 再履修

再履修科目の単位数は、当該学期の履修制限単位数に含める。和泉キャンパス設置科目（外国語科目は除く）は和泉キャンパスで受講し、定期試験も和泉キャンパスで受験すること。

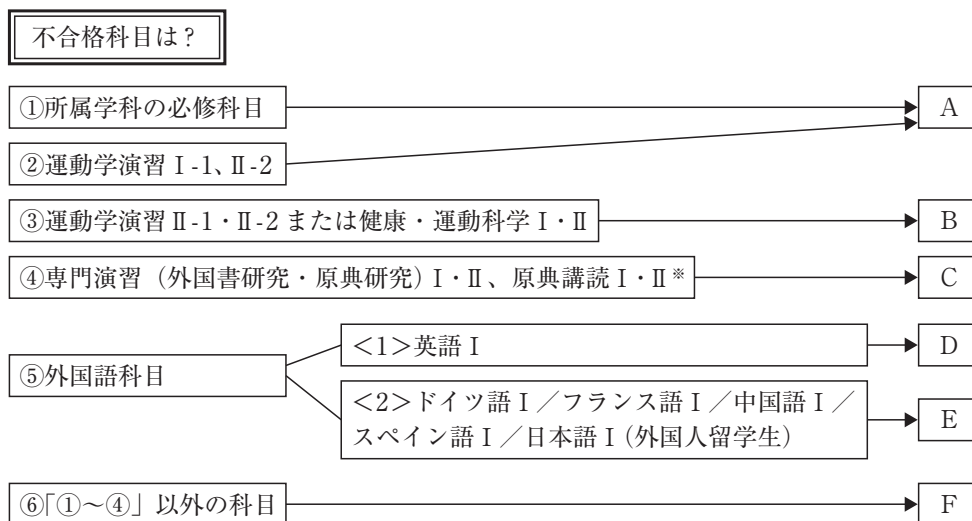
和泉キャンパス設置科目を履修する際は、キャンパス間の移動時間が30分かかることを考慮し、前後の時限に履修する科目を調整しなければならないので注意すること。

また、科目によっては履修を事前に登録するため、指定された日時に、履修手続をすること。

「3年生への注意事項」もあわせて確認し、卒業要件への理解を深めること。

II. 科目履修上の注意

【再履修フローチャート】



※2026 年度以降入学者は、「専門演習 (卒業論文) I B・II B」

A	必修科目のため、必ず再履修すること。
B	選択必修科目のため、次のいずれかを必ず再履修すること。 ・和泉キャンパス開講の「健康・運動科学 I」 ・駿河台キャンパス開講の「健康・運動科学 II」、「運動学演習 III-1」、「運動学演習 III-2」、「運動学演習 IV-1」、「運動学演習 IV-2」 ※3 年次以降は、和泉キャンパス開講の「運動学演習 II-1」および「運動学演習 II-2」は履修できない。
C	「原典講読 I・II」については、再履修の場合、クラス・曜日・時限などに関わらず履修可能。「専門演習 (外国書研究・原典研究) I・II」については、指導教員に事前の許可を得ること。
D	「英語 I」は 1 年次クラス指定科目のため、再履修できない。英語の卒業要件単位が不足している場合は、2 年次の選択外国語を増やすか、学部間共通外国語 (英語) や外国語検定試験による単位認定制度を利用し、必要な単位数を修得すること。
E	必修科目のため、不合格となった科目 (自身の選択外国語の「I」) を、必ず再履修すること。なお、日本語については、再履修するクラスを大学が予め指定する。 ※3 年次以降は、駿河台キャンパス開講科目のみ履修可能。
F	必修科目ではないため、再履修は必ずしも必要ではない。ただし、卒業単位が不足している場合は、必要な科目・単位数を修得すること。(特に 1・2 年次配当の基礎科目の卒業要件単位の修得状況をよく確認すること。)

外国語科目は、同一名の科目を複数回履修することができるが、過去に不合格となった科目を履修する場合は、たとえ担当者が異なっても、再履修となる。また、不合格の回数分単位修得しないと新規科目扱いにならず、4 年次最終学期の新規科目への算入の際は要注意。

4. 大学院設置科目の履修

(1) 大学院設置科目の履修

4 年次に在籍し、大学院政治経済学研究科が定める資格を有する者は、政治経済学研究科博士前期課程設置科目を 20 単位まで履修することができる。この単位は 4 年次の履修制限単位数に含まれない。修得した単位は、学部の卒業要件に含めることはできないが、大学院政治経済学研究科へ進学後に修得単位として認めることができる。履修を希望する者は履修登録期間中に政治経済学部事務室に申し出ること。

(2) 専門職大学院会計専門職研究科設置科目の履修

3・4 年次に在籍し、専門職大学院会計専門職研究科が定める資格を有する者は、専門職大学院会計専門職研究科設置科目を 14 単位まで履修することができる。この単位は 3・4 年次の履修制限単位数に含まれない。修得した単位は、学部の卒業要件に含めることはできないが、会計専門職研究科へ進学後に修得単位として認めるこ

とができる。履修を希望する者は履修登録手続き期間中に専門職大学院事務室に申し出ること。

5. 在籍原級

最終学年において1年間在籍し、かつ修業年限（休学期間を除く4年〔8学期〕）を超えた者が、卒業規定単位不足等により卒業できなかった場合で、本人の願いにより、引き続き在学する場合に適用する。在籍原級生は、卒業要件が変わるため注意すること。

また、原級生とは異なるため注意すること。

在籍原級生は必ず4月に行う「在籍原級生ガイダンス」に参加すること。

(1) 在籍原級者の卒業要件

【2021年度以前入学者】

在籍原級生は、不足分の卒業要件を満たせば卒業可能となる。そのため、新規履修科目4単位修得の要件は不要となる。ただし、「新規履修科目4単位以上修得」という要件のみで在籍原級した場合は、必ず卒業要件科目を1科目1単位以上、修得しなければならない。（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位はこの1単位に含めることはできない。）

【2022年度以降入学者】

在籍原級生は、不足分の卒業要件を満たせば卒業可能となる。そのため、専門演習を履修する者は「4年次に4単位以上修得」、専門演習を履修しない者は「在学最終学期において4単位以上修得」の要件は不要となる。ただし、在籍原級生は、在学最終学期において、必ず卒業要件科目を1科目1単位以上、修得しなければならない。（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位はこの1単位に含めることはできない。）

(2) 「専門演習（卒業論文）」の再履修

「専門演習（卒業論文）」を8単位修得できていない在籍原級生は、指導教員が認めた場合、再履修することができる。履修期間は当該年度の在籍期間により通年・春学期のみ・秋学期のみを選択できるため、半期履修卒業を希望していても「専門演習（卒業論文）」を履修することができる（ゼミナールに所属することができる）。再履修希望者は、指導教員に確認の上、履修登録期間中に政治経済学部事務室で所定の手続を行うこと。

(3) 半期履修卒業制度について

【秋季卒業（9月卒業）について】

①対象者

申請時において、次の要件を全て満たす者

- a. 卒業するための在学期間 8 セメスター（4年間）をすでに満たしている者（在籍原級生）。もしくは、過去に休学などをしたことにより春学期終了時に在学期間 8 セメスター（4年間）を満たす者。
- b. 春学期に履修した春学期終了科目の単位を修得（外国語検定試験による単位認定を含む）して卒業要件を満たす者（履修できる単位数は半期 24 単位）

II. 科目履修上の注意

②手続

①の資格を有する者のうち、秋季卒業（9月卒業）を希望する場合は、春学期履修登録期間中に「春学期履修卒業願」を提出すること。

③卒業の日付

学年暦上の春学期最終日

④学費

秋季卒業（9月卒業）の認定を受けた者は、春学期分の学費の納入のみで9月に卒業をすることができる。

なお、9月に卒業ができなかった者のうち、卒業に必要な単位数を未修得で、改めて3月に卒業を希望する者は、秋学期分の学費を納めることが必要。

⑤その他

a. 秋季卒業（9月卒業）の資格を有し、春学期終了時に卒業要件を満たしていても、「春学期履修卒業願」を提出をしていない者は、当該年度3月卒業の扱いになる。

b. 秋季卒業（9月卒業）した者が、当該年度に春学期終了科目以外の授業科目を履修している場合、その授業科目の履修登録を削除される。

c. 必要な学費は当該年度学費の半額と諸会費。

【秋学期履修卒業について】

①対象者

申請時において、次の要件を全て満たす者

a. 卒業するための在学期間8セメスター（4年間）をすでに満たしている者（在籍原級生）。

b. 春学期に履修はせず、秋学期に履修した秋学期終了科目の単位を修得して卒業要件を満たす者（履修できる単位数は半期24単位）。

②手続

①の資格を有する者のうち、秋学期履修卒業を希望する場合は、春学期履修登録期間中に「秋学期履修卒業願」を提出すること。

③卒業の日付

通年在籍卒業者と同じ

④学費

秋学期履修卒業の認定を受けた者は、春学期分の学費の納入のみで秋学期履修卒業ができる。（春学期分学費を秋学期分学費として取り扱います。）

⑤その他

a. 春学期科目及び通年科目（「専門演習（卒業論文）」を除く）は履修できない。履修登録は秋学期開始後ではなく4月の履修登録期間に行う。

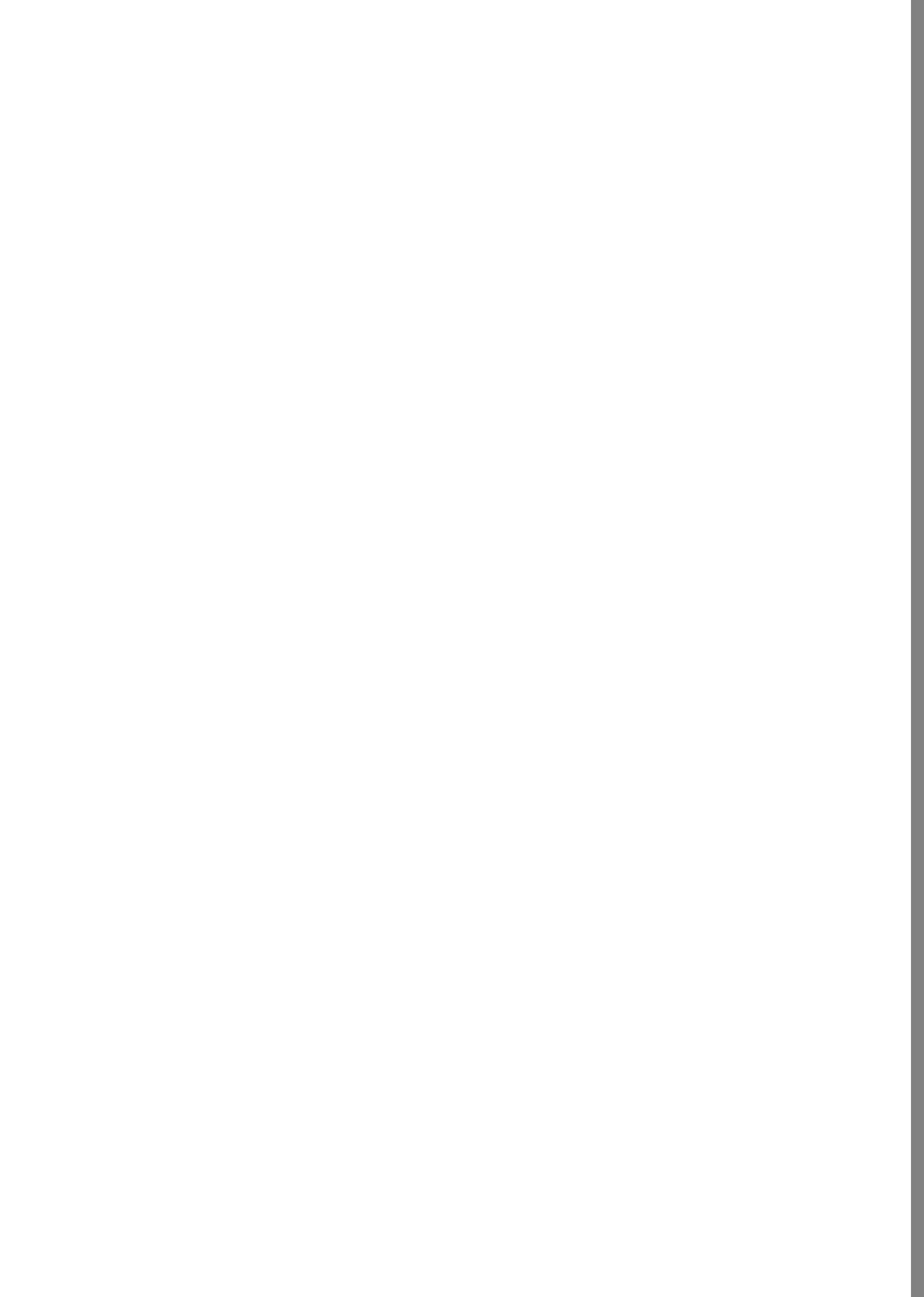
b. 春学期中は「履修をしていない」だけで、休学扱いではない。図書館及びパソコンの利用等は可能。

c. 必要な学費は当該年度学費の半額と諸会費。

- d. 秋学期履修卒業願の申請後、秋学期に休学すると秋学期卒業制度に対する減免が取り消され、新たに学費が発生するため注意すること。

※原級生について

休学等の事由により在学期間4年を満たせず、3月に卒業できなかった学生のこと。在籍原級生とは異なるため注意すること。



Ⅲ. 政治経済学部グローバル教育

グローバルキャリア形成プログラム
(GCD プログラム)

トップスクールセミナー科目

グローバルキャリア形成プログラム (Global Career Development Program)

1. プログラムの目的

グローバルキャリア形成プログラムとは、グローバル社会で通用する実践的語学力・コミュニケーション能力に加え、国際社会に関する基礎的知識を身につけ、柔軟な思考力・洞察力及びすぐれた問題解決力を有して、様々な専門領域において世界を舞台に最前線で活躍できる人材を育成するために設置されたプログラムである。

2. プログラム参加者の選抜方法

参加希望者の中から一定の基準を満たす学生を毎年 50 名程度選抜（※ 2 年次の募集も含む）してグローバルキャリア形成プログラム参加者とし、それぞれ所属学科のカリキュラムに応じた科目の履修の中で、上記能力強化のために選定したグローバルキャリア形成プログラム科目の中から各自の興味・目標に合わせて自由に履修する。

(1) 1 年次からの参加

- 参加希望者の中から、入学時に行われる TOEIC のスコアが高い順から 30 名を選抜する。
- それ以外の参加希望者については、以下の語学基準のうちいずれかを満たす場合、参加できることとする。

語種	基準
英語	TOEFL iBT (1) 総合スコア 68 以上 (2026 年 1 月 20 日以前受験の場合) (2) 総合スコア 4 以上 (2026 年 1 月 21 日以降受験の場合) IELTS6.0 以上
ドイツ語	Goethe-Institut 統一試験で Goethe-ZertifikatB1 以上の級において総合点 6 割以上
フランス語	DELTA・DALF 試験で DELTA B1 以上の級において合格
中国語	HSK で筆記試験 3 級以上の級において総合点 6 割以上、及び口頭試験中級以上の級において 6 割以上
スペイン語	DELE で B1 級以上の級において合格

(2) 2 年次からの参加

- 以下の語学基準のうちいずれかを満たし、かつ GPA が 3.0 以上である場合、参加できることとする。

語種	基準
英語	TOEIC750 TOEFL iBT (1) 総合スコア 83 以上 (2026 年 1 月 20 日以前受験の場合) (2) 総合スコア 4.5 以上 (2026 年 1 月 21 日以降受験の場合) IELTS6.0 以上
ドイツ語	Goethe-Institut 統一試験で Goethe-ZertifikatB1 以上の級において総合点 6 割以上
フランス語	DELTA・DALF 試験で DELTA B1 以上の級において合格
中国語	HSK で筆記試験 3 級以上の級において総合点 6 割以上、及び口頭試験中級以上の級において 6 割以上
スペイン語	DELE で B1 級以上の級において合格

3. プログラム科目及び修了に必要な単位数

グローバルキャリア形成プログラムの対象科目は以下のとおりとし、各科目群において修了に必要な単位数が定められている。

	科 目	修了要件 単位数
外国語科目	★ACE Academic Training ★ACE Presentation Skills ACE Content-based Study、ACE General Communication Skills、 ACE Exam Skills、ACE Multimedia Independent Study ※1 ACE Academic Training の単位を2単位以上修得すること ※2 ACE Presentation Skills の単位を1単位以上修得すること ※3 全て、S又はAの評価で修得すること ※4 ACE Multimedia Independent Study は、2026年度以降開講されません	6 単位
	ドイツ語Ⅳ、フランス語Ⅳ、中国語Ⅳ、スペイン語Ⅳ	2 単位
外国語 実施科目	英語による講義科目（国際教育プログラム科目・大学院科目も含む） Top School Seminar 科目、外国語で実施されている教養演習 ※1 教養演習は4単位まで	8 単位
国際 関係科目	留学による認定科目、グローバル人材育成プログラム科目、 海外留学演習、国際政治系及び国際経済系パッケージ科目、 国際地域・文化論コース科目、その他教授会で認定した科目	18 単位
	合 計	34 単位

4. プログラム修了要件

修了要件を満たした学生に対して修了証を授与する。修了要件には、「要件A」と「要件B」の2種類があり、「要件B」を満たした場合はGCD修了証、「要件A」を満たした場合はGCD優秀修了証を授与する。なお、GCD優秀修了証の受賞者は、学生顕彰表彰の対象とする。

修了要件を満たした学生は、年次に関わらず自身で「修了申請書」を提出し、修了要件を満たしていれば、修了証が授与される。

【修了要件A】以下の4点を満たすこと

- (1) TOEIC 930、TOEFL iBT 105（2026年1月20日以前受験の場合）もしくはTOEFL iBT5.5（2026年1月21日以降受験の場合）、IELTS Overall Band Score 7.0 のいずれかを満たすこと
- (2) GPA 3.0 以上
- (3) プログラム科目を34単位以上修得していること
- (4) 協定校・認定校等への留学（短期以上）又は国際ボランティアなど、学部の認めるその他の国際交流活動への参加

※ダブルディグリープログラムは、学内選考を通過し、留学先からの受入許可証を取得した時点で「参加」とみなす。

【修了要件B】以下の3点を満たすこと

- (1) TOEIC 835、TOEFL iBT 95（2026年1月20日以前受験の場合）もしくはTOEFL iBT5（2026年1月21日以降受験の場合）、IELTS Overall Band Score 6.5 のいずれかを満たすこと
- (2) GPA 3.0 以上
- (3) プログラム科目を34単位以上修得していること

トップスクールセミナー（国内留学体験）

政治経済学部では、世界各国の「トップスクール」と呼ばれる海外大学から教員・研究者を招き、専門分野の講義を英語で学ぶ機会を提供しています。

主な専門分野として、政治学、経済学、社会学、行政学、歴史学があり、これらの授業を総称して「トップスクールセミナー」と呼んでいます。

明治大学にいながら海外のトップスクールの授業を受講できますので、国内留学体験と位置づけております。国内で英語力を磨きたい方、英語で専門科目を学びたい方、将来の留学準備をしたい方はぜひ履修し、挑戦してください。

各授業の詳細は政治経済学部シラバス2「授業概要」を参照してください。

【紹介ページ】

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/topschool.html>



▶ 過去にトップスクールセミナーを担当した教員の所属大学、所在国、専門分野（一例、国名順）

 インドネシア大学(インドネシア) 東南アジアをめぐる国際関係	 西シドニー大学(豪州) 日本をめぐる国際関係
 ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(英国) 欧州の金融システムと経済問題	 タマサート大学(タイ) グローバル公共政策とガバナンス
 オタワ大学(カナダ) ポストケインズ派経済学入門	 カリフォルニア大学バークレー校(米国) 環境政策、公共衛生学

IV. 政治経済学部 of 課外教育

政治経済学部 of 課外教育

政治経済学部の課外教育

政治経済学部では、学部教育振興プロジェクトや留学プログラムなど独自の課外教育を実施しています。それぞれの課外教育の概要及び詳細は、以下のリンクから確認してください。

■学部教育振興プロジェクト

政治経済学部では、学費の中に含めて納入された実習料を「学部教育振興費」と位置付け、TOEIC 検定料助成や各種学内講座、キャリア支援イベントなどの多様な課外プログラムに活用しています。この学部教育振興プロジェクトは、これまでの大学の授業だけでは学ぶことができなかったものを各種のプログラムで補完し、学生諸君が社会に出るための「足腰を鍛える」ことを目的としたプロジェクトです。

学部教育振興プロジェクトの概要は、「政治経済学部生限定プログラム」パンフレット及び学部 HP に掲載しています。

【学部教育振興プロジェクト 紹介ページ】

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/project>

■留学プログラム（派遣・受入）

政治経済学部では、留学の促進及び国際的な視野を有した学生の育成を目的として、多様な留学プログラムを提供しています。学部生を海外協定校に派遣する学部独自の短期及び中長期留学プログラムに加えて、海外協定校の学生を交換留学生として受入れる長期及び短期プログラムを実施しています。

【グローバル教育・留学 紹介ページ】

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/top>



■国際交流学生委員会(英語名称：The Supporters for International Exchange of School of Political Science and Economics 略称：The Supporters)

政治経済学部では、学部の国際交流事業をさらに充実させ、学生主体の国際交流活動を促進させることを目的として、2022年度に国際交流学生委員会「The Supporters」が誕生しました。

委員として活躍した学生の中には、活動で得た経験をきっかけに、短期留学プログラムや長期留学プログラムに挑戦した学生も多くいます。皆さんもぜひ、The Supporters に所属し、世界中の学生とつながり、異文化交流を通じて国際感覚を磨きませんか。

主な活動内容や参加者の声については以下のリンクを参照してください。

【国際交流学生委員会（The Supporters） 紹介ページ】

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/thesupporters.html>

